

2021 慶應義塾中等部

若きはゆたかなれ

中等部の歌	表紙裏
ある日の中等部・施設・生徒の作品	カラーページ
「古くて新しい学校」	1
学校生活	2
教職員と生徒	5
教育課程	6
1年生の授業内容	7
学校行事	9
行事のようす	カラーページ

現職教員からのメッセージ	13
同窓会活動	23
生徒の作文から	24
刊行物	26
慶應義塾の目的	28
慶應義塾の歴史	30
募集のあらまし	32
Q & A	33
中等部記念の歌	裏表紙裏

中等部の歌

一、風にまろく

色のをさめて

慶應の旗

いよいよはそい

若きは清く
あれ

二、海の反射は

三田を照らす

独立の塔

ますます
あれ

若きはほが
あれ

折口信夫 作詞
芥川也寸志 作曲

三、またれりや

自尊の世代

この我を見よ

学にそそれり

若きはほが
あれ

四、今や自尊の

世代またり

慶應の旗

独立の塔

いよいよ照らす

若きはほが
あれ

広瀬裕之 書

中等部の歌について

1948年、「慶應義塾中等部の歌」が作詞・折口信夫、作曲・芥川也寸志によって作られ、同年9月28日に日比谷公会堂にて発表記念演奏会が開催されました。

折口 信夫（1882～1953）

元慶應義塾文学部教授。国文学者・民俗学者・歌人。民俗学を国文学的研究に取り入れ、民俗学的国文学を確立した。また釈迦空の筆名で歌人としても活躍。

芥川也寸志（1925～1989）

20世紀の日本を代表する作曲家・指揮者。1948年4月から49年12月まで中等部音楽科教諭。1948年度1年A組担任。

ある日の中部部



三色旗



基準服



英会話の授業



理科の授業



休み時間（中庭）



試験中

施設



正門から見た校舎



ポプラ館



ポプラ館 CAV室



ポプラ館 音楽室



ポプラ館 家庭科室



FUTURE館



FUTURE館 教室C



体 育 館



体育館 アリーナ



体育館 中体育室



体育館 多目的コート



体育館 プール



大 教 室



普通教室



綱町グラウンド

生徒の作品



「古くて新しい学校」

慶應義塾中等部長 井上 逸 兵

慶應義塾中等部にご関心をお寄せいただき、まことにありがとうございます。

学校説明会のパンフレットが出来上がりました。受験を考えていただいている小学生や保護者の皆様へ、お届けいたします。さて、新型コロナウイルスの収束が見通せず、今年度は学校説明会を開催できるかどうか、この原稿を書いている時点では分かりません。仮に、学校説明会の開催が叶わず、皆様と直でお会いする機会が持てなかったということになりましたら、心よりお詫び申し上げます。十分とは言えませんが、このパンフレットを通して本校の雰囲気や特色がおわかりいただければと思います。創立以来中等部が掲げてきた理念は「自立した個人を育む、自由な教育」です。どちらかというとアナログで、身体を通した活動を大切にしてきた学校ですが、このような社会の状況にあってもその理念が生きていることがお伝えできればうれしく思います。

創立時から中等部の皆が共有してきた理想は「人間関係が明るい学校を目指そう」というものでした。教職員同士、生徒同士、教職員と生徒の間に、お互いに自由に意志を伝えあえる人間関係を作り上げようという気持ちを皆がもっている学校です。そのような中等部の「空気」も、限られた時間ではありますが、ぜひ感じとってください。

慶應義塾の創設は、幕末の1858年にさかのぼります。当時はまだ中津藩の若い藩士であった福澤諭吉が江戸築地の藩邸に開いた蘭学塾が発祥です。近代化を迎える激動の時代にあって、西洋諸国と伍するためには、国を支える一人一人の人間が真に独立していかなければならないと福澤は考えました。福澤の「独立自尊」の理念は慶應義塾全体の教育の根幹です。

中等部の創立は1947年です。戦争が終わり、新しい自由な時代の幕が開けた頃のことです。中等部には慶應義塾の塾歌に加えて「中等部の歌」があります。折口信夫の作詞による1948年につくられたこの歌には「来たれり今や 自尊の世代」という一節があります。新しい時代の若者たちを「自尊の世代」と謳ってこの中等部はスタートしたのです。

慶應義塾中等部はこの二つの新しい時代の始まりにあって意気揚々と未来を語り、思い、新しい時代の先導者であろうとする志を伝統の礎としています。つねに新しい時代の入り口に立つ気概をもった古い学校なのです。

中等部では、「独立自尊」の理念を「自ら考え、自ら判断し、自ら行動して、その結果に責任を持てる自立した人物であれ」と中学生にも分かりやすい言葉で説いてきました。「独立」とは、色々な個性を持った一人一人が個人として尊重されるということでもあります。「自尊」とは、独立した個人が自分を尊重することです。この「独立自尊」が相手にも他人にも存在しているという考えを、しっかりと身に付けて学校生活を送り、その後の人生も歩んでほしいと私たちは願っています。

中等部では、「学業」「校友会活動（クラブ活動）」「学校行事」を、教育の3本の柱としています。学業において知識と学問の基礎を学び、校友会や行事を通して様々な体験を積み重ねて、自分の可能性を発見してほしいと考えています。受験を目標にする学校ではありませんので、勉強で他と競うことを主な目的としていません。自分を高め、新しい時代を生きるために、幅広い「教養」を身に付けてほしいと思います。

中等部は自由で楽しい学校です。ただし、「自由」とは勝手気ままに、他人や世の中のことはお構いなしに振る舞うことではありません。そんな「自由」は本当は楽しいものではありません。「独立自尊」に根ざした、本当の意味で楽しい「自由」な学校、笑顔と笑い声の絶えない学校であり続けたいと願います。

学 校 生 活

生徒には、自ら考え、自ら判断し、自ら行動して、その結果に責任を持てる自立した人物になってほしいと願っています。集団生活を行う上で、ある程度の規則を設定することはもちろん必要です。しかし、規則があるからやむを得ずを守るのではなく、生徒各人がなぜ好ましくないのかを「気品の泉源」「智徳の模範」の主旨に照らし合わせて考える習慣を養うため、「べからず」式の禁止事項を最小限にとどめ、自由の中に規律を求めることを目指しています。

〈中等部生活上守るべきこと・

知っておくべきこと〉

学校で生活するにあたっての申し合わせ事項を紹介しましょう。

服 装

[中等部生としてふさわしい、気品のある、端正なものであること]

1. 服装は自由であるが、バッジを常につけ、ジーンズなどは避ける。
2. アクセサリーなどはつけない。また、髪の毛の染色・脱色はしない。
3. 式および諸行事には、基準服を着用する。

人間関係

[相手の人格を尊重し、良好な関係を築いていこう。自分がされたくないことを、相手には絶対にしない]

1. 常に相手の立場を考え、思いやる気持ちを持つ。
2. お互いに協力し合い、困っている人がいたら手を差し伸べよう。
3. 身体的、精神的に相手を傷つける行為はしない。
4. 集団での無視、中傷、いやがらせはしない。
5. ネットやメールでのやりとりにも気を付ける。

校 内 — 登校時から下校時まで

[学校という社会生活のルールを守り、礼儀正しくふるまおう]

1. 午前7：30以前には登校しない。
2. 中等部手帳・生徒証・ロッカーキーは、常に携帯する。
3. 必要以上の現金は持ってこない。
4. 授業に必要な電子機器は持ってこない。
5. 漫画やゲーム類を持ってこない。ただし碁・将棋は例外とする。
6. 菓子類は、持ってこない。
7. ケガや事故につながるような危険な行動をとらない。
8. バットやラケットや固いボールなどの危険なものでは遊ばない。
9. クラスボールは周囲に配慮して使う。蹴る、強く投げる、高く打ち上げることはしない。
10. 緊急事態の場合、すぐに教職員へ連絡する。大人の助けを必要とするとき、各HR教室では「非常通報装置」が使用できる。
11. 中等部と綱町グラウンドの行き来には、必ず横断歩道を利用し、歩道を歩く。
12. 体育館では、赤ひもの運動靴を使用する。
13. 大声を出すなど、周辺住民の迷惑となるような行動は慎む。
14. エレベーターは原則使用しない。

校 外 — 登下校時および休日

[校外においても、中等部生らしい良識のある態度をとろう]

1. 登下校の途中に寄り道をしない。
2. 大学、女子高構内には立ち入らない。
3. 日曜・祭日などの休日は、原則として登校しない。

校 友 会

[校友会活動は、学業と並ぶものであり、積極的に参加しよう]

1. 校友会の入部・退部は、その校友会の部長と担任に書面で届け出る。
2. 校友会の活動は、一つの校友会について、平日週3日以内とする。休日の活動については、各校友会の部長の判断により、必要に応じて行う。
3. 夏休み中の活動日数は、休暇日数の半分以上とする。
4. 試験前1週間と試験中は、校友会活動をしない。

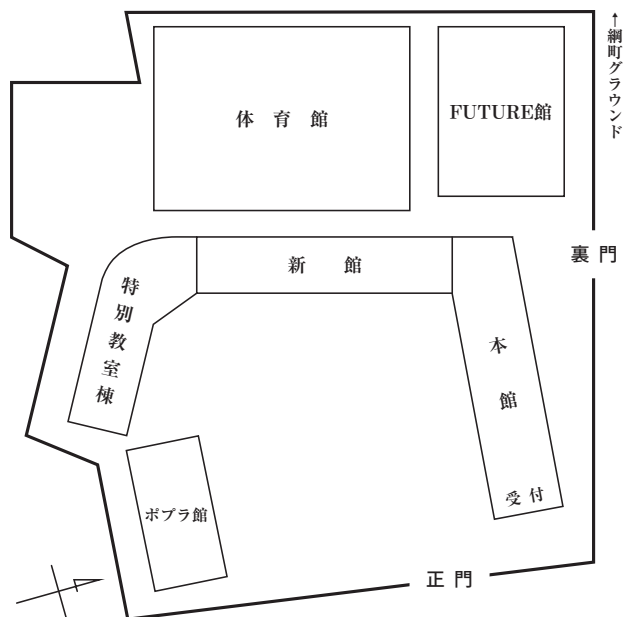
2019年度 校友会合宿一覧

学 芸 部	期 間	行 先	運 動 部	期 間	行 先
英 語 研 究 会	9/1～9/3	埼玉県飯能市	弓 術 部	4/1～4/4 7/28～7/31	石和温泉 石和温泉
化 学 研 究 会	9/3～9/5	大洗・袋田	剣 道 部	7/27～7/31	勝浦
カ メ ラ ク ラ ブ	8/26～8/28 8/29～8/31 9/1～9/3	岡山県真庭市 新潟県妙高市 兵庫県神戸市	サ ッ カ ー 部	8/24～8/27	掛川市
器 楽 部	3/28～3/31 9/1～9/5	清里 苗場	山 岳 部	3/24～3/27 7/27～7/28 8/4～8/8	戸隠 上州武尊山 西穂高岳
近代劇研究会(ダンス)	4/3～4/6 8/21～8/25	中等部 中等部	柔 道 部	8/21～8/23	小諸
コ ー ラ ス 部	8/7～8/10	苗場	女子ソフトボール部	8/20～8/23	山中湖
社 会 研 究 会	9/1～9/3	神戸	水 泳 部	3/24～3/27 7/31～8/4	福島県土湯温泉 港区三田
将 棋 部	9/4～9/6	下部温泉	体 操 部	8/27～8/30	港区三田
書 道 部	8/27～8/29	中等部	卓 球 部	3/24～3/27 8/1～8/4	大網 飯綱
地 理 研 究 会	8/31～9/2	新潟・酒田・新庄	テ ニ ス 部 (男 子) (女 子)	8/2～8/5 8/1～8/4	那須高原 菅平高原
図 書 の 会	7/22～7/23 9/2～9/3	中等部 中等部	馬 術 部	8/22～8/26	望月馬事公苑
美 術 部	9/3～9/5	秩父 美の山	バスケットボール部	3/23～3/28 8/28～9/1	福島県棚倉 北志賀竜王高原
文 芸 部	8/17～8/19	花巻市	バレーボール部	3/25～3/28 7/27～7/30	中等部 中等部
報 道 研 究 会	8/30～9/1	大阪	フ ェ ン シ ン グ 部	8/30～9/2	慶應立科山荘
マンドリンクラブ	8/7～8/10	苗場	野 球 部	8/19～8/22	諏訪湖
模 型 部	9/1～9/3	静岡	ラ グ ビ ー 部	8/1～8/4	菅平高原(長野)
歴 史 部	9/1～9/3	奈良・大阪			

〈施 設〉

都心にある学校ですので、敷地などの面では決して恵まれているとはいえませんが、施設を徐々に増やし、より良い学習環境を整えてきました。

普通教室のある本館と新館、特別教室棟などがあり、体育の授業や運動部の練習など屋外の運動は、校舎から少し離れた所にある綱町グラウンドを使用しています。グラウンドの脇には1993年に武道館（剣道場・柔道場・弓道場）が完成しました。また、1990年にポプラ館が、2000年にはFUTURE館が竣工し、視聴覚教育を中心として、さまざまなメディアを駆使した授業が行えるようになりました。さらに、アリーナ・中体育室・小体育室・セミナールーム・和室・多目的コート・プールを備えた新体育館が、2011年3月に竣工しました。



教職員と生徒

教員は、生徒に適切な指針を示し、その成長の道のりを見守るよう、努めています。お互いの信頼関係に基づいた上で、明るい人間関係を築くことを目指しています。

〈生徒〉

中等部の1学年の生徒数は約240名です。各学年とも男女混合の6クラスで、1クラスの生徒数は約40名です。また、男女の比率はおおよそ2:1です。今年度4月の生徒数は以下の通り（カッコ内はそのうちの幼稚舎からの進学者）です。

	1年生	2年生	3年生
男子	156(18)	158(14)	155(25)
女子	97(47)	95(47)	97(40)

〈高校への進学〉

3年の卒業時に中等部長の推薦により、塾内の高校に進学できます。男子は高等学校（日吉と略、以下同様）、志木高等学校（志木）、ニューヨーク学院高等部（NY）のいずれか、女子は女子高等学校（女子）、ニューヨーク学院高等部のいずれかです。昨年度の卒業生

（250名在籍）の進学状況は以下の通りです。

※横浜初等部を卒業した児童が湘南藤沢中等部に入學し、さらに湘南藤沢中等部を卒業した生徒が湘南藤沢高等部（藤沢）に入學するため、2021年度の本校入学生より、湘南藤沢高等部へは進学できなくなります。

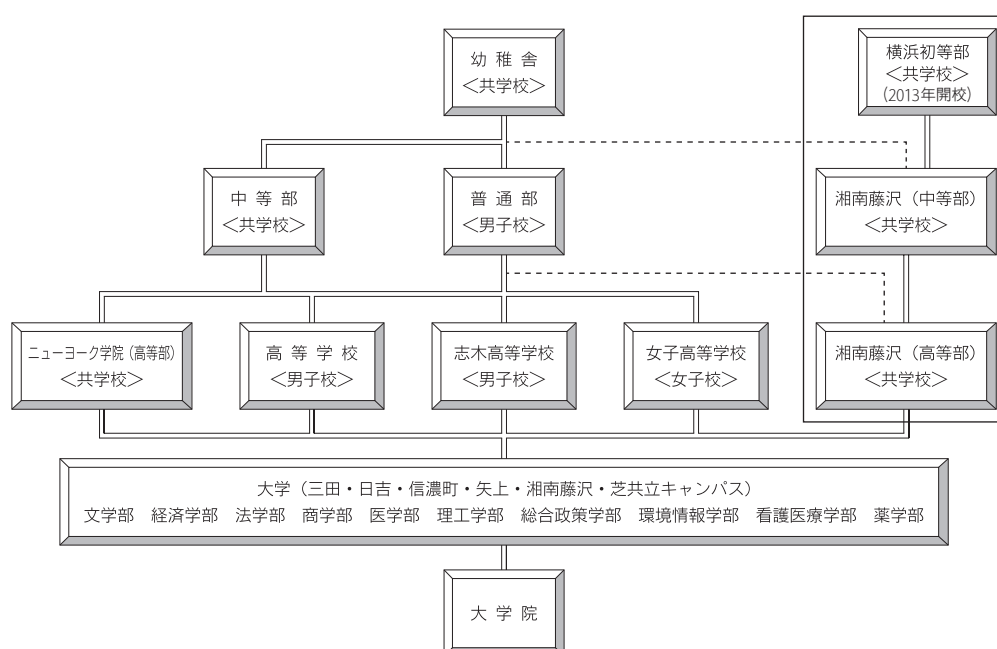
	日吉	志木	女子	NY	藤沢	その他
男子	137	4	—	1	10	4
女子	—	—	91	2	0	1

〈教職員〉

今年度の教員数は、部長1名、主事1名、その他の専任教員39名、非常勤講師30名です。事務職員は事務長1名のほか8名、保健師1名、カウンセラー1名です。なお、校医は7名が交代で健康管理にあたっています。

教員の間には、教務、行事、図書、年鑑、メディア、施設などの諸委員会が設けられ、学校の運営と教育の充実のために努力しています。また、環境教育委員会が環境整備に取り組んでいます。

教員の学術研究も活発で、研究会や研修が常に行われており、教員による著書や学術論文、研究発表や講演も少なくありません。1995年3月には紀要『ウェリタース』第1号が発刊され、その後年1回刊行されています。



教育課程

生徒が将来円満な人格と豊かな人間性をもつ人になることを教育目標としていますから、学科においてもかたよらない知識を得、幅広い経験を積むことが大切であると考えています。つまり、慶應義塾の大学を卒業し、社会の中核の人物になり得る素地を作るためには、いろいろな学問の基礎を学び、様々な体験を積み重ねることが必要で、それが自分の可能性の発見につながるのです。

〈授 業〉

授業時間は45分単位です。年間を通じて授業は午前8時10分に始まります。月曜日から金曜日までは6時間の授業があり、午後2時20分に終わります。土曜日は4時間の授業とホームルームがあり、午後0時30分に終わります。週6日制となっています。

1時限	8：10～8：55
2時限	9：05～9：50
3時限	10：10～10：55
4時限	11：05～11：50
昼休み	11：50～12：40
5時限	12：40～13：25
6時限	13：35～14：20

1週間の授業時数は、各学年とも35時間です。体育では男女別で授業を行いますが、それ以外の科目はすべて男女一緒です。また、英語Ⅱでは、各学年ともネイティブスピーカーと日本人の教員が一緒にひとつの教室で授業をするティームティーチングを実施しています。さらに英語Ⅲでは、生徒の習熟度を考慮した少人数クラス編成による授業が行われています。技術・家庭や習字、国語演習、数学演習でも、クラスを2つに分けた少人数教育を行い、より一層一人一人に目が届く指導を心がけています。

学期は3期制で、学期ごとに各科目で成績評価が出されます。考査は年間5回の定期考査の他に、科目により平常考査が行われます。これは、定期考査と平常考査の両者に一長一短があるため、併用しているのです。また、レポートの提出やノート検査、課題や宿題の出来具合等、考査以外にも評価の対象になることがあります。

総合的な学習の時間は時間割に組み込まず、各教科や行事の中で総合的な学習の要素を取り入れた指導をしています。

週当り授業時数

		1年	2年	3年
国語	I	2	2	3
	II	2	2	2
	演習	1	1	—
	習字	1	—	—
社会	I	2	2	2
	II	—	—	2
	III	2	2	1
数学	I	3	3	2
	II	2	2	2
	演習	—	1	1
理科	I	2	2	2
	II	2	2	2
音楽		2	2	1
美術		2	1	2
保健体育	体育	2	2	2
	保健	1	1	—
技術・家庭		—	2	2
英語	I	3	2	2
	II	2	2	2
	III	1	1	1
選択		—	—	2
情報		1	1	—
道徳・特別活動		2	2	2
計		35	35	35

〈選択授業〉

3年生になると、週に1回、2時間連続して行われる「選択授業」を受講します。多彩な講座の中から自分の興味や関心に応じて、選択しますから、より一層学習意欲を高めるきっかけになると思います。

選択授業では、ふだんの授業で取り扱わない内容や教員の専門分野を生かした内容なども受講できるように工夫されています。クラスの枠をこえたメンバーで受講しますから、生徒も教員も新たな環境で学びあうことを楽しみにしています。

2020年度 実施科目一覧

落語を楽しもう

14歳からの哲学

芸術書道 ―SDGs 編―

港区周辺今昔

いのちの法律学

社会を科学しよう ～社会学入門～

マネーの「IQ」を学び、感動を「設計」する

SDGs のすゝめ

ミツバチの世界へ、ようこそ！

アンサンブルを楽しもう

造形ワークショップ

ハンディクラフト

英会話 (advanced/intermediate)

フランス語入門

スペイン語入門

映画と音楽

TED から学ぶ英語プレゼンテーション

目指せ留学！ TOEFL® に挑戦

演習数学／理科演習

1年生の授業内容

1年生では、まず授業に慣れ、自分の勉強方法を確立することが大切です。毎日の授業をしっかりと聴いてノートを取り、予習・復習を心がけるよう指導しています。以下に、1年生の授業内容を簡単に紹介しましょう。

国 語

国語Ⅰでは、小説や物語、詩、短歌、俳句などの文学作品を中心に、随筆、説明文、論説文など、さまざまな形式の文章に触れながら、内容を正確に読み取る力を養います。文章をみんなで元気よく朗読することもありますし、「学問のすすめ」の暗唱も行います。また、週1回の演習の時間では、ことばを用いて自分を表現することの楽しさを学びます。原稿用紙の使い方などの基礎的な学習から始まり、俳句・短歌の創作、ブックカバーの制作、ディベートなど、さまざまな表現活動を行います。

国語Ⅱでは、わたしたちがふだん使っている「ことば」というものについて深く考えるために、音声や文字、ことばのきまりを学びます。

習字では毛筆を使い、文字を正しく、美しく、速く書くために行書を中心に学びます。

クラスを2つに分けて、少人数で展開します。

社 会

社会Ⅰと社会Ⅲがあり、それぞれ世界地理と歴史を扱う科目です。

社会Ⅰでは、地図帳を用いて、世界の国々・世界の地形・世界の気候などを学習します。また、林間学校の準備学習として、目的地の地図を用いた授業も行います。

社会Ⅲでは、日本史の他に世界史も適宜扱い、1年生では、人類の発生や四大文明、ギリシャ・ローマの歴史なども学習します。

数 学

数学Ⅰでは代数分野を、数学Ⅱでは幾何分野を扱います。

数学Ⅰでは、基本的な計算を中心に、正負の数の計算から始めて、文字式の使い方、方程式・不等式の解法と文章題、関数の意味と比例・反比例などを扱います。

数学Ⅱでは図形の基礎的な用語の説明から始めて、作図と移動、空間図形などを学習します。時には論証を重視して扱うこともあります。

理 科

化学・物理を扱う理科Ⅰと、生物・地学を扱う理科Ⅱに分かれています。

理科Ⅰでは、水溶液や気体の性質、力のはたらき、光の進み方などを、実験を取り入れながら学習します。

理科Ⅱでは、植物と大地の変化について学習し、屋外での観察・スケッチや、顕微鏡での観察レポートなどの課題が出ます。

音 楽

まずは「慶應義塾塾歌」「中部部の歌」を歌えるように練習します。「赤とんぼ」などを歌ったり、リズム遊びから楽譜の読み方の基礎を学習したり、「春」「越天楽」「魔王」「ブルタバ」などの鑑賞も取り入れています。アルトリコーダーの演奏も楽しめます。

美 術

3年生における油彩画制作の前段階として、1年生では、厚塗りが可能な不透明水彩絵の具（ガッシュ）の使い方を学ぶところから始めます。絵の具の使い方に慣れたら、大学構内に写生に行きます。また、デザイン、木版画や陶芸も経験します。

保健体育

保健の授業では、最初に健康とはどういう

ことなのかを考えます。体のしくみを初歩的に学び、さらに体の発育・発達について、また運動することで体のはたらきがどのように変化するかなども学習します。

体育の授業では、サッカー、ソフトボール、水泳、バレーボール、バスケットボール、剣道、持久走などを行います。発育、運動能力について個人差はありますが、中学生期は体の発育・発達の面で大切な時期です。運動の得意、不得意に関わらず、まじめに努力することが大切です。

情 報

コンピュータの操作などの実践的な学習活動を通じて、情報を適切に処理して日常生活や社会生活において活用できる能力を身につけることを目標としています。

文字の入力やソフトウェアの活用、データの整理などといった基本的な操作や、ネットワークに接続された本校のコンピュータシステムの活用について学習していきます。

特にコンピュータネットワークを利用する上でのルールやマナーについては、油断をせず、しっかりと学習することが大切です。

英 語

アルファベットの確認から始めて、一年間で英語で自己紹介や身のまわりのことが表現できるようにします。常に外国と日本の文化の相違について意識しながら、なるべく日常よく使う単語やフレーズを中心に学習していきます。英語Ⅰでは問題集を活用し、基本的な文法を学び、英語Ⅱではネイティブスピーカーとのティームティーチングを活用し、英語Ⅰで学んだことを実践的に運用します。英語Ⅲはクラスを分割し、日本人教員2名が担当します。少人数制を生かし、ローマ字や辞書の使い方、歌や音読、文法の復習など英語Ⅰ、Ⅱを補うきめ細かい指導をしています。

学校行事

毎日の授業以外にも大切なことはたくさんあります。友達と和を深めたり、一緒に目標に向かって頑張ったりしながら、かけがえない思い出をつくりあげていく、それが中部部の学校行事です。

1年間の主な学校行事は以下の通りです。

新入生歓迎会 (4月)

2・3年生全員が新入生を歓迎し、あわせて校友会の各部の内容の紹介をします。4月に行われた歓迎会のプログラムは次の通りでした。

- | | |
|-----|---|
| 第1部 | 1. 開会宣言
2. 中部部の歌
3. 生徒会委員長挨拶
4. 新スタッフ・局員の紹介
5. 生徒会機構の説明 |
| 第2部 | 学芸部の紹介 |
| 第3部 | 運動部の紹介 |
| 第4部 | 1. 新入生へのプレゼント
2. 新入生へのインタビュー
3. 閉会宣言 |

健康診断 (4月)

身長・体重などの計測や、視力・聴力などの検診を細かく行います。

BLS 講習会 (4月)

新入生を対象に、専門の指導者による一次救命処置 (Basic Life Support) と AED 作動訓練を行います。救急手当の手順を学ぶと共に、大切な人・命を救うため、勇気を持って一刻も早い対応ができるよう知識と技術を習得します。

遠 足 (4月)

学年ごとに、近郊への遠足を行います。入学以来、緊張していた新入生にとっては、担任とのふれ合いや、クラスメイトと仲良くなるよい機会になっています。今年度の各学年の行き先は次の通りで、昨年度の1年生の感想も載せておきます。

1年……昭和の森公園

2年……武蔵丘陵森林公園

3年……九十九里

今回、私たち1年生は昭和の森公園へ行きました。この遠足でのテーマは、『中部部生になろう』というものでした。このテーマから、友達を増やし、クラスの親睦を深めることと、慶應義塾中部部生としての自覚を持って、責任のある行動を心がけることが、中部部生になるための一歩だと思いました。まだ入学して1か月も経過しておらず、クラスメイトのことを全く知らなかったため、この遠足でもっとクラスメイトのことを知りたい、そして旅行委員としての役割を果たしたい、そのような思いで遠足へ行きました。

行きのバスでは、バスガイドの方がバスで通った場所や見えるものをたくさん教えてくれました。それをきっかけに近くの席だった子と会話がはずみ和気藹々としていると、あっという間に昭和の森公園に着きました。バスを降りて多目的広場に向かい、レクリエーションである「タオルリレー」や「ボール送り」、「長縄」をしました。どれも難しく優勝はできなかったけれど、クラスの団結が深まったように感じました。その後、お花見広場では、きれいな桜を見ながらお弁当を食べたりお菓子を交換しあったりと、とても楽しい時間を過ごすことが出来、嬉しかったです。お昼ごはんを食べ終え、記念撮影をし、そこから少し歩いた太陽の広場で自由時間になりました。そこではバレーボールをしたり、だるまさんが転んだをしたりし、クラスの親睦がより深められました。帰りのバスでは公園で楽しく過ごしたように、みんなが幅広い人と話していて、遠足を通しての変化が感じられました。

この遠足では、クラスメイトとの親睦がより深まり、旅行委員としてもやりがいも感じられ、多くのことを学べた良い機会だったと思います。これからの中部部生活をよりよくするためにも、この遠足で学んだことを忘れず、普段から様々な子と交流をしていきたいです。

(1A ○○○○)

慶早戦応援 (5月または6月)

春季の東京六大学野球リーグ戦の慶早戦の応援に行きます。1年生は全員参加します。

校内大会 (5月・7月・10月)

学年ごとにクラス対抗で球技や水泳などを行い、全生徒が参加します。例年行われる種目は次の通りです。

5月	ソフトボール	(各学年男子)
	バスケットボール	(各学年)
	ドッジボール	(各学年)
7月	水泳	(各学年)
10月	サッカー	(各学年男子)
	バレーボール	(各学年)
	綱引き	(各学年)

古典芸能鑑賞会 (6月)

毎年、古典芸能に関する演劇の鑑賞会を実施しています。国立劇場などへ行き、本物の舞台を観る貴重な体験もします。今年度は、3年生と1・2年生に分かれ、以下のように鑑賞会を行う予定です。

3年	落語(北館ホール)
1・2年	歌舞伎(国立劇場)

林間学校 (7月)

1学期の最後に、各学年で全員参加の林間学校が行われます。事前に図書室やインターネットなどで目的地について調べておき、現地で地形・地誌・動植物・歴史などに触れ、実体験を通じて学習します。夏休みにその結果をまとめ、2学期の展覧会の際に発表します。3泊4日で、今年度の目的地は次の通りです。

- 1年……北信越
- 2年……奥日光
- 3年……蓼科

昨年度、富士に行った1年生の感想を紹介します。

[1日目]

大学からバスで出発し、まずはじめに北口本宮富士浅間神社で参拝しました。着いた時にちょうど霧が出てきて、とても美しく、自然を肌で感じました。その後、富士山世界遺産センターに行き、富士山の地形や、富士山が描かれた絵などを学びました。そして、奥庭で写真撮影を済ませてから、昼食を食べてバスに戻り、次の目的地である富士山パノラマロープウェイへと向かいました。時間がおしていたため、本当は上りは自分たちで歩き、下りはロープウェイで帰ってくるという予定でしたが、ロープウェイで上り、下りを歩くということになりました。ロープウェイから見える景色はとても綺麗で、これから歩いて下っていくのをがんばろうと思わせてくれました。

[2日目]

まずはじめに、三湖台へ行きました。三湖台までは、最初から最後までずっと急な坂道が続き、とても辛かったですが、友達と話しながら重い足を一步步ず動かしているうちに、頂上に辿り着けました。頂上からの眺めはとても良く、青い空とどこまでもつづく美しい山を見てみると、だんだんと心が落ち着き、まだまだ頑張ろうと思うことができました。

次に向かった鳴沢氷穴は、夏だということに寒く、またとても神秘的な場所でした。そして、バスの中で昼食をとり、元気になってから精進湖民宿村まで行き、バスでホテルに戻りました。

[3日目]

3つの班に分かれての班別行動でした。3班は石割山を登りました。石割山まで登る道中にはとても長い階段があり、途中何度も心が折れそうになりましたが、“あと少し”と心の中で思い、なんとか登りきることができました。また、雨が降り始めたため、平尾山、太平山、長池山、花の都公園へは行けませんでした。とても楽しかったです。夕食後のレクでは、演歌やものまね、お笑いなどの出し物をみんなで楽しみました。

[4日目]

みんなで飯盒炊爨をしてカレーを作りました。野菜を切ったり、火をおこしたり、

お米を炊いたり、具材を煮込んだりと、とても忙しかったです。特に、具材を煮込む時は煙が顔に当たるので、目が痛くなり、涙で目が赤く腫れあがってしまいました。ですが、出来上がった時にはとても達成感がありました。残念ながら味は特に美味しいとは言えませんでした。みんなが強い絆で結ばれた気がしました。この絆がもっと深まるように、毎日を過ごしていきたいです。

(1B △△△△)

保護者会

年に4・5回、年度始め、中間考査後や学期末に行います。担任教員と保護者が生徒の成績や生活などについて話し合います。まだ不安のある1年生の1学期や進学をひかえた3年生の2学期は、時間をかけて行います。

校友会の合宿・旅行 (長期休暇中)

夏休みを中心に、各校友会で、練習や試合の他に2泊から5泊の合宿・旅行が行われています。行き先は各校友会により異なります。

海外研修 (夏休み・春休み)

希望者を対象とした3種類の海外研修を行っています。

夏期英国研修(3年対象)では、青少年用の宿泊施設に英国の生徒と一緒に寝泊まりし、様々な野外活動を通して現地生との交流を深めます。春期英国研修(2年対象)では、英国ホカリル校の生徒宅にホームステイをしながら同校の授業に参加し、日本とは異なる生活様式や学校の様子を体験します。2019年度新設の夏期ハワイ研修(3年対象)では、イオラニ校の寮に現地生と一緒に滞在し、イオラニ校のスタッフ主導で現地生と共に課題解決プロジェクト型の学習を行います。

これら中等部主催の研修以外にも、義塾関連の複数のプログラムを紹介しています。

運動会 (10月)

大学の日吉キャンパスの陸上競技場にて、陸上種目・団体競技などをクラス対抗で行います。昨年度のプログラムは次の通りです。

1. 開 会 式 (全 員)
2. 徒 競 走 (3年男子全員)
3. 3 人 4 脚 (2年男女)
4. 行軍レース (各学年男子)
5. ABCDEF 対抗リレー (各学年)
6. タイムレース① (各学年)
7. 満 腹 競 走 (3年男女)
8. 陣取り綱引き (女子全員)
9. 徒 競 走 (1年男子全員)
10. 借 物 競 走 (各学年男女)
11. 各部対抗リレー (運動部・学芸部)
12. フォークダンス (全 員)
13. 徒 競 走 (2年男子全員)
14. レディーファースト (1年男女)
15. タイムレース② (各学年)
16. 早かご競走 (3年男女)
17. 徒 競 走 (女子全員)
18. 騎 馬 戦 (男子全員)
19. クラス対抗リレー (各学年)
20. 閉 会 式 (全 員)

ホカリル校日本語研修受け入れ (10月)

春期英国研修で中等部生のホームステイ受け入れをした生徒を中心に、20名弱の日本語学習中のホカリル校生が来校します。数日間、中等部生宅でホームステイをしながら授業に参加します。パートナーの生徒はもちろんのこと、クラス全員にとって、同年代の外国人と共に学校生活を送ることができる貴重な国際交流の機会となっています。

展 覧 会 (11月)

校友会の各学芸部が研究成果を発表するほか、学年の部屋では林間学校の学習結果の発表や個人作品の出品もあります。また、運動部も発表や招待試合を行っています。展示は20数室に及びます。

この展覧会には、翌年中等部を受験しようと考えている小学生やその保護者の方が多数訪れ、学校と生徒を直接見て知ることができるよい機会となっています。今年度の展覧会は11月14日(土)12:00~16:30、15日(日)9:30~16:00に開催されます。

尚、ポスター・パンフレットの表紙は、毎年生徒の作品から選ばれます。



〈昨年度のパフレット〉

音楽会 (12月)

校外の施設を借りて、クラスごとに音楽の授業の成果を発表します。全員が出演者となり、舞台に立ちます。また、後半の第二部は、器楽部による管弦楽演奏・マンドリンクラブの合奏・コーラス部の混声合唱です。

なお、3年生の曲は例年、各クラスの生徒による創作曲です。

生徒の感想を紹介します。

私たち3年生にとって最後の音楽会。そして、クラス一丸となって行う最後の学校行事でもありました。中等部では、3年生は音楽会のために自分たちで曲を作ります。私はこれまで2回あった音楽会で上級生が自作の曲を歌うのを聴いてクラスへの愛や思い出がたくさん詰まった歌詞と完成度の高い曲に感動していました。2学期最初の音楽の授業で決めた私のクラスの曲はハモリパートが多くて聴きごたえのあるものでしたが、その分音程をとるのが難しく、練習を始めてすぐの頃は全然上手く歌えませんでした。それでも、練習を重ねるにつれ、一体感が増していき、本番でも練習通りに歌いきることができました。クラスの皆と共に一つの曲をゼロから作り上げたことは、卒業前のとても良い思い出と経験になりました。3年生の歌を聴いて、昨年や一昨年前の私と同じように、下級生がこんな風に歌いたいと感動してくれていたら嬉しいです。

(3B ☆☆☆☆)

生徒会総会 (12月)

全生徒が一堂に会して、生徒会事務局からの年次報告を確認したり、中等部生活をよりよくするために意見を交換したりします。

昨年度のプログラムを紹介します。

第1部

1. 開会宣言
2. 生徒会事務局活動報告・委員会活動報告ならびに質疑応答
3. 新生徒会委員長の所信表明演説
4. 新生徒会委員長に対する方針上の代表質問

第2部

1. 生徒会総会実行委員会活動報告ならびに質疑応答
2. 討論に関する諸注意

第3部

1. 議題及び動議に対する質疑応答・討論採決

第4部

1. 閉会宣言
2. 講評

キャリア講座 (1月)

社会のさまざまな分野・業界で活躍している卒業生を10人ほど招いて講座を開き、その中から生徒が自分の興味・関心に合わせて2講座を選び、お話を聞きます。生徒会総会の議決によって実現した行事です。

見学 (3月)

1・2年生は、社会・理科の授業の一環として、見学を行っています。今までの見学場所は、工場・ゴミ処理施設・大学・研究所・博物館・歴史散策などです。

卒業旅行 (3月)

3年生は、卒業する前に九州へ4泊5日の旅行をします。福澤先生ゆかりの大大分県中津や長崎をはじめとして、九州北部を巡ります。

行事のようす



入学式



大学構内見学（旧図書館にて）



健康診断



遠足（静岡県・姫の沢公園）



新入生歓迎会



慶早戦応援



海外研修旅行（春）



校内大会（サッカー）



古典芸能鑑賞会



避難訓練



Basic Life Support（BLS）訓練



林間学校（長野県 斑尾）



校内大会（バスケ）



校友会（山岳部）



運 動 会



海外研修旅行（夏）



生徒会総会



展 覧 会



ホカ Ril 校日本語研修受け入れ



音 楽 会



見学（もの知りしょうゆ館・野田工場）



「Improvised English Comedy」鑑賞会



卒業旅行（熊本）



卒業旅行（長崎）

現職教員からのメッセージ

国語科

メールにLINE、簡略化されるコトバ…。このあわただしい現代に、中等部の国語科は、いったいどのように対応すればよいのでしょうか。

「本物」を一緒に学んでいきたい。一言で私たちの姿勢を表すならば、この「本物」を追求していくことだと思います。

日本の教育現場は国際化の波が押し寄せる一方、急速なコミュニケーション・ツールの展開により、じっくりと国語を味わうことができにくくなっています。例を挙げれば、一人あたりの読書量は激減し、漢字をペンで正確に書く機会をなかなか持てなくなりました。社会がスピード化される時代の中を生きる私たちであるからこそ、言葉の深みを知り、言葉を使って自分の考えや感情を説明し、他の人々と丁寧な関係を築いていくことは大切なことなのです。

こうした状況に対応するため、1年生は、表現力（書く力、話す力）を鍛えることを目標に、国語演習の時間を設けています。また、慶應義塾の創始者である福澤諭吉の著した『学問のすすめ』の冒頭部分の暗唱も行います。その一方で、ロゼッタストーンと呼ばれる石版に刻まれたエジプト文字を、文字の成り立ちの手始めに学び、漢字のでき方や多様な組み合わせの学習につなげていきます。

2, 3年生になると、詩歌や古典の暗唱を励行し、「本物」の言葉の持つ表現力やリズムの素晴らしさを体験することになります。今年度は『枕草子』『徒然草』『平家物語』などの古典、齊藤茂吉や島崎藤村の詩歌を教材に選びました。

他方、漢字教育や読書指導にも力を入れています。小学校で習う漢字は1006字ですが、

中等部は卒業までに常用漢字2136字を最低限学習します。授業では漢字の小テストを区切りごとに行いますし、希望者には日本漢字能力検定受検の機会を設けています。漢字の習得には、漢字の成り立ちや意味を理解したうえで、地道な練習をすることが大切です。

2年生になると、読書の時間を授業内に設け、図書室の良質な環境でじっくりと良書を読んで、リーディングメモ（専用の読書ノート）に記録します。読書量の豊富な生徒は年間200冊以上も読んでいます。

また、年に一度、全校で古典芸能を鑑賞する行事があり、昨年度は歌舞伎と落語を鑑賞しました。日頃、なかなか味わう機会のない伝統芸能を理解するために、授業にて事前学習をした上で「本物」の舞台を体験します。ユネスコの世界無形遺産にもなっている伝統芸能の数々を今後も吟味して検討していきたいと思います。

遠い昔から私たちの生きる現代へ届いた数々の「本物」の言葉…。3年間の国語の授業を通して、「本物」を味わう喜びを、皆さんと少しでも共有できたら…。それが中等部国語科の変わらぬ願いなのです。



国語演習「俳句づくり」

社会科

東京へ行く時に、「上京する」という言葉をよく使いますね。これは首都、すなわち都へ向かうことを「上る」と表現するからです。東京近辺の列車で、東京駅方向へ向かう電車

を「上り」というのと同じです。

江戸時代、幕府は江戸、すなわち今の東京にありましたが、皇居は京都にありましたので、都は京都でした。だから京都もしくは京都方面へ行くことを、当時は「上る」と表現していたのです。今と逆ですね。京都や大坂のことを「上方^{かみがた}」と言うこともありました。

この頃は、この「都へ上る」という表現を、商品に対してもよく使っていました。当時の商業は江戸と大坂（当時は「阪」ではなく「坂」の字を使っていました）が中心で、全国からこの2大都市に商品が集まってきました。そして江戸から大坂へ、また大坂から江戸へも商品の流通が行われていたのですが、特に大坂から江戸へ向かうものが多く（当時の江戸は全国から人が集まる巨大都市でしたので…）、それらを「下^{くだ}る」と表現していたのです。

さて、今も昔もブランド品が好まれるようで、江戸時代にもブランド品、いわゆる産地別の高級品があり、人々はそれらを大変好んで求める傾向^{けいこう}があったようです。「京都の着物^{なだ}」とか「灘の酒」とか……。今でも「名産品」として残っている物も多いです。そして面白いことに、これらのブランド品は、大坂や京都周辺に多く、大坂に集まるが多かったようです。そんなことから、大坂から江戸に向かうような商品、いわゆる「下り物」は江戸の町人^{ちやうにん}の間で大変人気がありました。むしろ「下り物」そのものが一種のブランド品となっていたようです。

ですから、「下ってこないような物」は、「粗悪品^{そあく}」、「質の悪い物」というイメージでとらえられていました。「下ってこない物」＝「粗悪品・質の悪い物」＝「下らない物」…。このことから、つまらない、価値のないものに対して「下らない」という言葉を使うようになったのです。

どんな事にも、ちゃんと「歴史^{かく}」が隠^{かく}れています。皆さんの身の回りを見渡^{わた}してみてください。

ださい。きっとありますよ、「歴史」が。どんなに「下らない」ものであっても…。

数 学 科

今、2軒^{けん}の家があり、この2軒をつなぐ道路を造ろうと考えています。

ただし、道路を造るにはお金がかかるので、できるだけ短い道路を造ろうと思います。

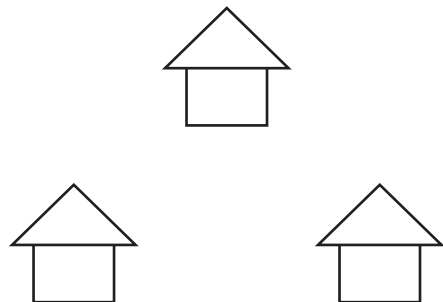
さて、どのような道路ができるでしょうか？
このとき、道路の幅^{はば}は考えなくてよく、道路は直線でも曲線でもよいものとします。



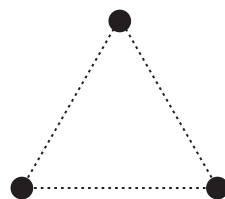
2軒の家をつなぐ道路が最短になるのは、道路が直線になるときです。

おそらくこれはみなさんの予想通りの答えだったのではないのでしょうか。

では、下の図のように、3軒の家がちょうど正三角形の頂点の位置関係にあるときはどうでしょうか。

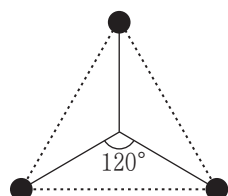


状況を考えやすくするため、ここからは1軒^{じやうきやう}の家を1つの点で表すことにしましょう。



さて、3軒全てを通り、できるだけ短い長さの道路を造ることができましたか？

道路の長さが一番短くなるのは、次の図のようなときです。



上の図では、それぞれの家を通る3本の道路が、どれも 120° の角度をつくって交わっています。

では、もし4軒の家がちょうど正方形の頂点の位置関係にあるように建っていたら？

また、5軒の家がちょうど正五角形の頂点の位置関係にあるように建っていたら？ どのような色々と想像をふくらませてみてください。

自分の予想が当たっていたときの^{うれ}嬉しさ、想像を超えたものに会ったときの^{おどろ}驚き……みなさんがこれから足を踏み入れる^ふ数学の世界には、たくさんの発見や感動があります。

そんな^{みりよく}数学の魅力を一緒に^{いっしょ}味わいませんか？

理 科

あなたはすでにスマートフォンを持っていますか？ もう、持っていない人の方が少ないですよ。スマホは手軽に情報共有したり、知りたいことを調べたりできるもので、もちろん便利なものではありますが、頼りすぎることは危険だと考えています。

人間というのは皆、〈学習する〉能力を持っています。これは学校の勉強に限ったことでないことは皆さんにもわかると思います。この、学習する能力には、練習を繰り返すことによって理解したりうまくできるようになったりする能力や過去の経験をもとにこれから

の行動をどうするか判断する能力など、多くの能力が含まれています。自分の代わりに何かをしてくれたり、教えてくれたりするスマホやAIが普及して自分自身の経験が少なくなれば、それは自分の学習の機会を失っていることになります。そうすると自分でできることがどんどん減っていくのではないのでしょうか。楽しむことができるのはいいことかもしれませんが、それで生きる喜びが得られるのでしょうか。そういう意味で危険だと考えたのです。

理科の授業で行う実験は、貴重な経験をする機会です。実験器具を正しく使いこなすこと、正確に測定したり、注意深く観察したりすること、同じグループの人と協力したり分担したり譲り合ったりすること、与えられた時間や場所を考えて的確に行動することなど、すべてが学習によってできるようになります。

コロナウイルス感染対策で、休校になっている期間はもちろん、授業を再開してからもしばらくの間は実験室での実験はできませんでした。代わりに、先生がしている実験の映像や、ネット上の動画を見てもらっていましたが、自分自身で実験をするときと比べると、得られる経験は格段に少なくなりました。これではいけないと思い、3年生にはこれまでの経験を生かして、それぞれの家庭で実験をしてもらいました。

家庭での実験となると、時間こそ自分の都合に応じて決められますが、まず場所を考えないといけないし、器具や材料の用意や準備、片付けも一人でしなければいけないということでもなかなか大変です。でも、それが楽しいことでもあるし、よい経験になるのです。

自分が経験することによって得られるもう一つの大切なことがあります。それは〈感じる〉ことです。理科の実験はいうまでもなく、客観的に測定したり、結果から考えたりする

ことも大事な要素ですが、極端なことを言えば、これからの時代、そういうことはすべて機械がやってくれます。人間だからこそのするのは〈感じること〉なのです。中等部では以前から実験レポートに、「感想」を書いてもらっていますが、そこに書くことは、「○○できてよかった」というような、振り返ったときの思いではなく、実験中のある瞬間に感じた、「きれいだなあ」とか「ドキッとした」とか「イライラした」という、むしろ単純なものであってほしいのです。感じたことが何もない、ということは「つまらなかった」と言っているようなものですね。多くの実験は、自分が感じようとする気持ちさえあれば、決してつまらないものではないと思います。最後に、前述の家庭での実験〔食塩水の電気分解〕のレポートの、内容と表現がいいと思った生徒の感想を載せておきます。

『泡が出た時、気分が上がった』『クリップが黒くボロボロになったのを見て、予想していなかったのでおどろいた』『陰極の周りが濃い赤色から黄色や緑色になって行ってきれいだなと思った』『実験が終わった際のビーカーの色がコケのような色で少し気持ち悪かった』

美術科

色の勉強

1年生の1学期。最初の実技の授業では、「ガッシュ」という不透明な水彩絵の具の使い方を習います。ガッシュの特徴は、厚く重ね塗りが出来ることで、この絵の具になれておくと、後に3年生になったときに油絵の具を早く使いこなせるようになります。

まず、絵の具をパレットに出して水で溶いてみます。ガッシュの特性を最大限に生かすには、水で薄めすぎずに溶くことが重要なのですが、最初はなかなかうまくいきません。

ガッシュの場合、水の量を少なめに溶かしないと発色が良くありません。理想的には、生たまごを溶いたくらいの感じが良いのですが。醤油の濃度ではなく、とんかつソースのドロドロした感じと説明すると、大抵皆わかってくれます。

ガッシュの溶き方ができるようになったところで、混色をしてみます。まず三原色（青、赤、黄）をそれぞれ2色ずつ混ぜ合わせて、中間色（紫、橙、緑）をつくります。

スケッチブックの1ページいっぱいを使い、正三角形を上下に二つ組み合わせた、「ダビデの星」（イスラエル国旗のマーク）のような図形を描きます。次にこの図形の、六つの頂点を直線で結びます。この図形はコンパスと定規一本だけで描けるのですが、いつもてこずる人が大勢出てきます。

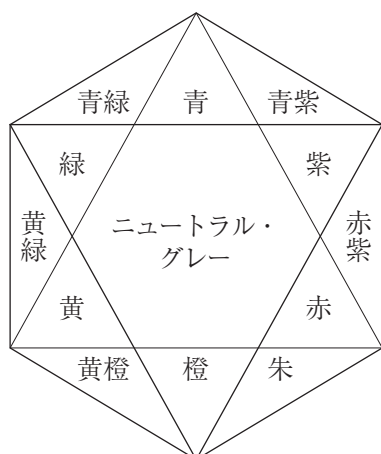
この図形の上向きの正三角形の各頂点を含む小さな三つの正三角形を三原色：青、赤、黄に塗ります。次に下向きの正三角形の各頂点を含む三つの小さな正三角形をそれらの中間色である紫、橙、緑と塗って行きます。

次にダビデの星の頂点を結ぶことによって生まれる二等辺三角形六つをそれぞれ、先ほどの中間色の紫にさらに青を混ぜてできた、青紫、赤を混ぜてできた赤紫、橙色に赤を混ぜてできた朱色、黄色を混ぜた黄味がかった橙色、緑に黄色を混ぜてできた黄緑、青を混ぜてできた青緑といった具合に塗っていきます。

こうしてできた、青→青紫→紫→赤紫→赤→朱→橙→黄橙→黄→黄緑→緑→青緑と続く輪を「色相環」といいます。最後に余った絵の具を全部混ぜて白を加え、ダビデの星中心部の六角形を塗ります。この時、うまくいくと、「ニュートラル・グレー」というきれいな灰色ができます。ニュートラルとは英語で「中間」という意味です。これが、この授業のクライマックスで、簡単にで

きてしまう人と、なかなかできない人がでてきますが、うまくいくと、出席簿^ぼの表紙のような色になります。もし灰色が緑がかったいたら、赤を少量混ぜ、紫がかったいたら黄色を混ぜる、また橙色がかったいたら青を混ぜるなど、色相環にあるその色の反対の色を混ぜると、より中間的な灰色に近づきます。

このように、この授業では、三原色（青、赤、黄）を混色しただけで、9色の色ができ、さらにそれらの全部を混ぜて、白を加えるとさらに灰色もできるということを学びます。つまり、三原色と白さえあれば、これだけの色がつくれるということです。これさえマスターすれば、どのような絵を描こうと混色に^こ困まることはありません。



技術・家庭科

コンピュータで設計！

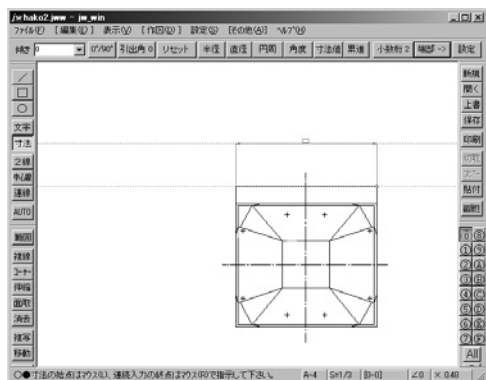
技術科では、色々な分野の学習がありますが、材料と加工に関する技術を学ぶ分野では、ものをつくる実習授業を通して、素材や加工方法について学びます。情報に関する技術を学ぶ分野では、情報化社会に対応していくために、コンピュータ等の情報機器^{きそ}に関しての基礎的な学習や情報^{あつか}を扱う上での注意などを学びます。

この一見異なった2つの分野なのですが、中等部の技術科ではどちらの要素も取り入れ

た内容を行います。それはコンピュータによる設計です。

具体的な内容としては、材料と加工に関する技術を学ぶ分野で制作する作品の製作図^{キヤド}をCADソフトウェアを使用して制作します。製作図とは、実際にものを作るときに必要な情報を図にまとめたものです。そしてCADとは「Computer Aided Design」の頭文字^{かしら}を取った略語で、日本語に訳すと、「^{しえん}計算機支援設計」ということになります。計算機とはコンピュータのことですね。つまりコンピュータの助けを借りて設計するという意味なのです。ものづくりの現場では、もともと製作図を作るときは、^{じょうぎ}定規・コンパスなどの製図道具を使用して、手書きで線を引き、作っていました。それが今ではこのCADを使用して作っていることがほとんどといっても過言ではないでしょう。その初歩的な方法を技術の授業で学ぶのです。これはもちろん将来もの作りに関係した職業^つに就く人には大変参考になるでしょうし、立体を平面の図形に直したり、自分のイメージしたものをシミュレーションしていくということは、創造力を養うという面でも非常に重要です。創造力とはものを作り出す力^{じょうなん}のことで、柔軟な発想や、的確なイメージ力が必要とされます。普段^{ふだん}の生活においても必要な力なのではないでしょうか？

さてCADについてですが、コンピュータを使って製作図を制作するなんて聞くとなんだか難しそうだな、などと考えてしまいが、そんなことはありません。ひとつひとつの操作は簡単なものです。使い方が分かっしまえば、手書きで製作図を制作するよりも簡単に、美しく図面を制作することが出来ます。そして、自分が実際に制作する作品をイメージしながら図^{えが}を描いていくことは楽しいものです。技術の授業では、楽しみながら創造力を養うことを目指していきます。



↑ CADソフトウェアの画面

音楽科

みなさんは普段、音楽とは「聴く」という方法で接している人が多いのではないかと思います。落ち込んだときに元気になる曲を聴いたり、ふと思い出の曲を聴いてみたり、疲れたときに癒してくれる音楽を聴いたり…。このように音楽を「聴く」ことで私たちは楽しみ、また音楽からいろいろな力をもらっています。では、「聴く」という方法以外で私たちはどのような形で音楽と接しているのでしょうか。

その答えの前に、力をくれるという以外に音楽が持つ、もう1つの側面を考えてみましょう。音楽を「聴く」という行為は、受動的なものです。それとは逆の能動的な部分が音楽のもう1つの形です。それは、『表現する』ということです。音楽という道具を使って、自分を『表現する』。これが音楽を楽しむことができるもう1つの方法です。ではどのように音楽を使って『表現する』のか。それが、前の質問の答えになります。

音楽で『表現する』方法として、真っ先に思いつくのは「歌う」や「演奏する」ということです。みなさんは気付かないうちに音楽を使って自分を『表現している』のです。カラオケで歌っているとき、同じ曲を歌っていても一人一人歌い方が違います。これは、各人が持つその曲に対するイメージが違うからで、そのイメージを自分なりに『表現して』歌っているからです。また、うれしいときと

悲しいときとでは、歌い方や声のトーンはきっと違うはずです。「演奏して」いるときも同じようなことが起こります。ピアノなどの楽器を弾いているとき、気分によって音の強弱が違ったり、気分が乗っているときはテンポが速くなったりするのではないのでしょうか。このように音楽を使って知らず知らずのうちに自分を『表現して』音楽と接しているのです。そして、これら以外にもう1つ音楽を使って『表現する』方法があります。それは、「作る」ということです。絵を描いたり作文を書いたりするのと同じように、自分で音楽を「作る」のです。学校の帰り道、何気なく思いついたメロディーを鼻歌などで歌ったことはありませんか。これも立派な音楽を「作る」行動です。それでも「作る」というのはなかなか経験することがない方法ですが、中等部の音楽の授業では3年生になると全員が作曲・作詞をして、歌曲をつくり発表をします。メロディーを作ったり詞を書いたりすることは音楽を使って自分を『表現する』ことです。また、その自分が作った曲が音や声となって聴こえてきたときの喜びはひとしおです。自分が作った曲を聴いて歌って楽しむ。音楽の全ての要素が詰まった最高の楽しみ方かもしれません。

みなさんもぜひ、自分なりに音楽を『表現する』方法を見つけ、いろいろな形で音楽と接してみてください。そうすると、音楽の世界がよりいっそう^{ひろ}拡がり、もっともっと楽しみを増やすことができるはずです。



音楽会

保健体育科

体育実技では、スポーツテストを年一回実施しますがその姿は真剣そのものです。実施内容は、反復横跳びや握力、背筋力などを測定する体力測定と、50m走やボール投げなどの運動能力測定であり、3年間のデータを通じて個人の健康や体力への関心を持つことで、新たな目標や健康への意識をより高めていくことを目指しています。中等部生はこの結果を基準に、スポーツの得手不得手に関わらず体育実技やクラブ活動で積極的に活用し、日常生活の指標にしていけるのです。

また保健では、日頃テレビや新聞で話題になっている健康に関する問題や現代の風潮を話題にして考えていく学習や、グループに分かれてテーピングや怪我の応急処置、一次救急救命法など、緊急時にも実際に対応できるような方法を身につけられるような授業にしています。

ある日の授業風景①。1年生による剣道の授業最終日です。授業の最初と最後は剣道の礼法を行っています。正座、黙想と、普段の生活ではあまりする事のない剣道の礼法に、授業を始めた頃の生徒は戸惑っていましたが、回数を重ねる事で正しい姿勢での正座、礼法が出来るようになりました。竹刀を用いての授業では、初めて握る竹刀に「重い！」や、「かっこいい！」や、「武士になった気分！」等、生徒の声はまちまちでした。基本的な素振り、踏み込み足を用いての練習では、「難しい！」という声がたくさん出ましたが、友達同士で話し合ったり、生徒自らが工夫をする事で、少しずつ正しく竹刀が振れるようになりました。最後の授業では、全員で大きな声を出し、正面素振り100本に挑戦しました。苦しくなった時に皆で励ましあい、全員で100本を振り切った時の生徒の達成感あふれる顔が印象的でした。

ある日の授業風景②。2年生の男子生徒たちが、綱町グラウンドに笑顔で走って来ます。準備体操の大きな掛け声がグラウンドに響き渡ると、ボルテージは最高潮に達します。なんと今日はサッカーの授業最終日。毎時間積み重ねてきた、練習・ミーティングの成果が発揮されるのです。そしてキックオフの笛が鳴り、グラウンドにはゴールを喜ぶ大きな声と、さわやかな汗とが入り混じります。サッカーの得意、不得意に関係なく全員が一心不乱にひとつのボールを追いかけるのです。試合が終了して、各チームが集まり、礼をすませ、今まで忘れていた疲れと、汗でぐっしょり濡れた自分の体育着に驚きながら、グラウンドの上に座り込みます。最後はみんなでストレッチをしながら、今日のプレーを振り返り楽しく会話しながら授業が終わります。

英語科

「英語がしゃべれたらいいなあ。」と思いませんか。中学1年生は本格的な英語学習のスタート。中等部ではどのような授業をしているのでしょうか？

正しい英語を使えるようになろう

最近、英語は「めちゃくちゃでもとにかく通じればいいんだ」という考えを耳にすることもあります。でも考えてみてください。私たちが使っている日本語にも、正しく美しい日本語と誤った美しくない日本語とがありますね。社会で活躍している人たちの多くは、正しく美しく日本語を話しています。

ことばを正しく美しく使うためには、自身の教養を高めると共に、多くの語・句・文を正しい規則に基づいて使えなければなりません。このルールを「文法」といいます。私たちが普段使っている日本語の文法と英文法との間には大きな隔りがあるため、中等部では英語Ⅰの授業でじっくりと文法に取り組み、

語彙を増やし、さまざまな文を速く正確に組み立てるトレーニングをします。

音声やリズムを大切にしよう

英文法を学び、正確に英文を書けたとしても、実際に「音」を知らなければ、相手とことばを交わすことはできません。そこで、英語Ⅱ・Ⅲの授業では「音」を大切に、ネイティブの先生と一緒に、聴く・話す力を伸ばしていきます。中部部にはフランス語・スペイン語を含めてネイティブの先生が現在9人おり、3年間、週に2～5時間はネイティブの先生と一緒に授業になります。

英語では挨拶の一貫として、相手に“*How are you?*”とその日の調子を尋ねるのが礼儀ですが、その返答として多くの市販教材では“*I'm fine.*”（元気です）のみが挙げられています。しかし、絶好調の時も、いまひとつの時も、疲れがたまっている時もあるはず。そこで、ネイティブの先生はジェスチャーや顔の表情を駆使しながら、“*I'm fine.*”以外の返答の仕方を教えてください。

また、“*I like ~.*”（私は～が好き）という表現では、“*～*”に入るのが1年生では習わない難しい表現であっても、辞書を引いたり先生に尋ねたりしながら、本当に自分が好きなものを英語で表現できるようにします。

このような授業を通して、中部部生は自分自身のことを英語で表現できるようになっていくのです。



ネイティブの先生との授業風景

さあ、来年はあなたの番です。中部部の教室で、あなた自身のことをたくさん英語で話してみませんか？

H R

中部部では朝の会や終わりの会のような毎日のHRはありません。その代わり火曜日の4時限目と土曜日の4時限の後にHRを設けています。教員からの伝達事項だけでなく、クラス独自の活動や生徒会活動にも利用されています。今年の1年生は入学記念文集を手作りで制作しました。中部部では生徒会活動が大変盛んです。生徒会委員長のリーダーシップのもと、クラスの代表者であるクラス委員4名で構成される生徒会委員会が定期的に開かれ、活発に議論が展開されています。今年の最初の議題は生徒会委員長のマニフェストである「行事の活性化」の第一弾である「展覧会で“部活No.1を決める”」でした。クラス委員は生徒会委員会の議題をクラスに持ち帰り、クラスの意見を集約します。例えば、“ランキングが出ると気合が入るから賛成”“賛成だけどビリまでランキングを出すには反対”“中部部生だけが投票するのか、お客さんにも投票してもらうかによる”等々の意見が出ました。意見がぶつかり、クラスの意見がまとまらず担任の先生に助け舟を出してもらうこともあります。こうして時には決を採り、クラスの意見をまとめ、生徒会委員会に持ち帰りますが、まさに自分たちの「自治」を実践しています。一方HRではクラスの枠を超えて、学年全員が集まって遠足や林間学校、見学に向けてのお話を聞くこともあります。週にわずか2回のHRですが、様々な内容と目的で有効に使われています。

図 書 室

一つ質問です。受験生のみなさんは、読書という行為は、どこまでも個人的なものだと思いますか？ 当然、本は一人で読む機会が多いわけですし、どの本を選ぶかなんて趣味的だし、読書はその人その人の好みの問題だよと片付けてしまう人もいるでしょう。それも確かに一理あるかと思うのですが、そこだけで、すなわち個人的な営みだけで読書を完結させてしまってはもったいないと考えます。

例えば、どこかのレストランでおいしい料理を食べたとき、多分それは自分の秘密にしまっておくのではなくて、その料理がおいしかったことを誰かに話したくなるのではないのでしょうか。あるいは、自分の好きなミュージシャンの楽曲を、友達に聞いてもらってその良さを分かってもらいたい、と思った経験を持っているのではないのでしょうか。

読書もそれに通じるところがあるものです。自分ひとりで読む次元で終えるのではなく、その次の段階として、「いい本を別の人にも読んでもらいたい」とか「この本の感想を誰かと語り合いたい」といった感情が自然に湧き上がってきておかしくないのです。そういう意味で、ぜひ、読んだ本を共有してってもらいたいと思います。



図 書 室

さて、中部部の図書室は、気のおけない友達同士が集まって、本を中心にいろいろ語り

合える、そんな雰囲気があるところです。学校の図書室は、ただ本を並べているだけの美術館ではありません。みなさんが、本を手にとって、本を借りていって始めてそこが図書室となるのです。そういった意味では、中部部の図書室は、中部部の生徒たちがまさに十分図書室たらしめている、と言えるでしょう。例年、生徒の貸出冊数は1万冊を超えています。これは、中部部生がとても良く本を読んでいる、本を活用していることの裏返しです。みなさんも、中部部の新入生になったら、図書室をどんどん利用してください。



福澤先生関係資料（常設展示）

最後に、中部部図書室を語る上で欠かせないものを二つご紹介します。まずは、「読書のすすめ」です。これは、中部部の教員が、中部部生にすすめる本を網羅した冊子で、新入生に配布されます。次に、「リーディング・メモ」です。これは、中部部三年間をかけて読んだ本を記録するノートです。中学生時分に読んだ本の思い出はかけがえのないもの。がんばって読んでいる人は2冊、3冊と増やしていきます。

紙面では、図書室の魅力について全ては語り尽くせません。あとはみなさん自身の目で確かめてください。新学期に中部部図書室で会えるのを心待ちにしています。

保健室

中等部の保健室は、慶應義塾の小学生から大学生の健康管理をしている保健管理センターの分室のひとつとして機能し、各分室と連携を取りあい、慶應義塾の一貫教育校ならではの健康管理を行っています。例えば、慶應独自の「健康手帳」や「健康のすすめ」という小冊子を配布し、みなさんの健康状態について家庭と情報交換を行っています。健康診断では、法律で定められた項目の他に、希望者には血液検査をし、生活習慣病の予防、学校感染症の予防、貧血の早期発見など病気予防への積極的な対応を行っています。

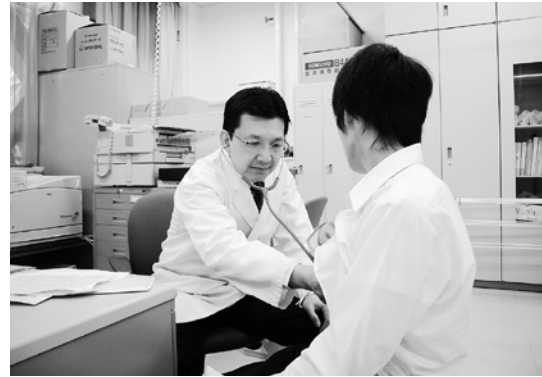
保健室には、ほぼ毎日、学校医が在室し、みなさんの健康管理や健康相談、発熱や外傷などの救急診療にあたっています。必要に応じて、慶應義塾大学病院をはじめとした医療機関へ診療を依頼することもあります。

その他、中等部では、成長期のスポーツ障害予防の積極的な取り組みとして、スポーツ医学相談、スポーツメディカルチェックを実施しています。スポーツ医学相談では、慶應義塾大学病院の整形外科スポーツドクターが来室し、整形外科的な問題について相談を行っています。スポーツメディカルチェックでは、主に循環器系の内科的検診を行います。みなさんが安全にスポーツ活動を行っていけるように、毎年、熱中症の予防、スポーツ傷害予防などの講演会も開いています。

また、無理なダイエットによる健康への影響などを含め、ウェイトコントロールについても講演会や、随時相談などを行っています。

中学生は、勉強の内容も増え、部活動や交友関係も活発になり、生活行動範囲の広がる時期です。身体の成長が著しく、また、精神的にも不安定になりやすい時期です。このような時期には、いろいろなことで悩みが多く

なるものですが、お友だちや担任の先生などのほかにも、保健師、カウンセラー、学校医（小児科医）など、保健室にも相談できるひとがたくさんいますので、気軽に話しに来てくださいね。



スポーツメディカルチェック

同窓会活動

11月に行われる展覧会に40歳を迎えた人たちが中等部に集まります。中等部「卒業25周年式典」に参加する、中等部の卒業生です。毎年参加者が、「人生の中で中等部時代が一番楽しかった」と感慨深げに語る姿がみられます。中等部を卒業して25年、不惑と呼ばれる卒業生は様々な分野で活躍しています。中には、社会的にも著名な方もいます。しかし、この日は中学生に戻って、級友やクラス担任と楽しく話の輪の中に加わっています。自由で明るい中等部の校風が20年以上の年を経ても色あせていない表れといえるでしょう。

同じく展覧会の会場には、同窓会の展示教室が設けられています。中等部の歴史やOB・OGの活躍と中等部時代の思い出などを展示し、同窓生ばかりでなく、中等部生徒や一般の来場者にも同窓会活動の紹介をしています。中等部生にとっては、先輩たちの言葉が将来の人生設計に大いに役立っているようです。

慶應義塾中等部同窓会は、「慶應義塾中等部卒業生の連絡をはかり会員相互の親睦を厚くし、自由な中等部気風の継承と高揚をはかること」を目的として、1964（昭和39）年に正式に発足しました。具体的な活動内容は次の通りです。

- (1) 塾風の伝承に関する援助
- (2) 1回生からの全同窓生が集う
「同窓会の日」の開催
- (3) 会員名簿の管理、特選塾員の推薦
- (4) クラス会、同期会への援助
- (5) 慶應義塾中等部同窓会奨学金制度
(名称・中等部ひまわり奨学金)
- (6) その他本会の目的に添う事業
 - ・大学3年生の同窓会員を対象とした個別企業セミナーの開催
 - ・会報「中等部ジャーナル」の発行
 - ・中等部卒業5周年・15周年同期会及び

25周年・50周年記念式典・懇親会の開催
支援

- ・展覧会での展示
- ・中等部生対象の同窓会員による講演会
(名称・キャリア講座、環境講座、特別授業、同窓会機構の説明)
- ・各卒業回生の代表が参加して活動内容を討議・決定する、常任委員会（年8回程度）、代議員総会（年1回）の開催

こうした諸活動以外にも、校友会（クラブ）活動を軸に、OB・OG会の開催や、卒業生コーチによる指導も活発に行なわれています。

慶應義塾には、福澤先生のおっしゃった「社中」という言葉があります。学生・生徒、保護者、教職員、そして卒業生、慶應義塾と係わりのある全ての人々が、まるで家族のように協力し慈しみあう、という意味です。

卒業生同士の交流に留まらず、現役生徒対象の奨学金制度や講演会、展覧会での展示などの幅広い活動をしている中等部同窓会は、まさに「社中」の象徴といえるでしょう。中等部で培った人々のふれあいはその3年間で終わるのではなく、中等部同窓会という組織を通して、卒業後も続いていくのです。

中等部生活を土台とした、良き友人関係を卒業後も大切に育み、さらに世代を超えた幅広い交流が行なわれているといえるでしょう。



「同窓会の日」の様子

生徒の作文から

あこがれの中部部

一年男子

僕は、念願だった中部部に今年入学することができた。まだ小学生だった頃から展覧会で中部部に訪れることが多く、生徒や先生の生き生きとした姿を間近に見てきた。そのとき抱いた印象は、中部部生みんな朗らかで楽しそうだったことだ。また、先生を「さん」とつけて呼ぶことや、愛称で呼ばれている先生もいることから、生徒と先生の距離感がとても近いと思った。

展覧会を通して感じたのは生徒と先生の関係だけではない。それは、校友会活動である。展覧会では、主に文化部の発表だったが、それでも上手に発表や演奏を披露している中等部生の姿を見て、この日のために努力してきたということとを強く実感した。また、入学式での井上部長によるお話から、校友会活動は周辺視野を広げるためにも大事と聞き、これから始まる校友会活動への意識がより高まった。

校友会活動と同じく大事なのが、勉強つまり学問である。福澤先生もその大切さを説いていたように、学問は一生のものであり、社会に出た際に重宝されるということを「学問のすすめ」の全編を読み、学ぶことができた。だから、僕もより多くの知識を蓄えていきたい。

以上のことから僕は中等部生活を楽しく過ごせるように、勉強と並行して校友会活動を頑張り、一生の友達をつつていきたい。

より素敵に

一年女子

桜がひらひらと舞い散る中、胸にキラキラと光るバッジをつけて華々しい入学式を私達は四月に迎えているはずだった。しかし新型コロナウイルスの影響により入学は六月まで延び、入学式は小じんまりとしたものになってしまった。そんな中私は不安と緊張が入り混じった気持ちで中部部に入学した。しかし中部部はとても楽しく、そんな気持ちも一瞬で消えた。中部部生活は三年間しかなく、すぐに終わってしまうだろう。そのためにも中部部生活を今よりも百倍素敵にしたいと思う。

その方法はきちんと目標を持って、それを達成することだ。目標を持つことによってそれに向けて努力をする。その努力をすることで中部部生活をより良いものへと変えていけると思う。私の目標の一つに「信じる」というものがある。きちんと己を信じ仲間を信じることで、新しい挑戦ができたり仲間との絆が深まると思う。そして仲間からも信じてもらえる人になりたい。

三年間、沢山の時間を中部部で過ごすことになるだろう。この短い期間だけですでに楽しかったことが沢山あった。友達と小学校の時の話で盛りあがったこと、担任の先生と友達と下校時刻まで話して大爆笑したこと。あと三年間もあつて、どんなに楽しいことが待っているのか想像するだけでワクワクする。全てが最高の思い出になるだろう。

2019年5月1日、平成から令和へと元号が改まりました。天皇の退位と新しい天皇の即位にともなって、特別に祝日も設定されました。新しい元号「令和」は、『万葉集』の歌に付けられた序文から採られました。さて、改元の「改」をテーマに中等部生に作文を書いてもらいました。その中から、男女各一編を紹介します。

新時代の担い手 1年男子

「改」というタイトルを与えられた。僕は真っ先に改元という言葉が思い浮かんだ。なぜなら今年は、元号が平成から令和に変わった年だからだ。さて、僕は改元には大きく2つの意味があると思う。1つ目は、これから始まる新しい時代への期待や、より良い時代になって欲しいという願いが込められていると思う。

歴史を辿ると、天変地異や自然災害、飢饉が続くと元号を変えたという。新元号で心機一転、これ以上このような災難が続かないよう、幸せな生活、未来を迎えることが出来るようとの願いが切実に込められているように思う。2つ目は、改元することで、区切りが出来て前の時代を振り返れ、見直すきっかけが作れるという点だ。これは身近な体験で実感できた。例を挙げると、改元前や、その直後にテレビをつけると平成という時代のプレイバックが多く放送されていた。ここで平

成を一気に振り返り、知らなかったことや、今では当たり前になっていることに多く気付くことができた。中等部でも節目節目で必ず振り返りという時間がある。僕はこの一旦立ち止まる時間がとても大切だと思う。

一方、西暦では区切りなくひたすら続く数字である為、振り返る機会があまりないように思う。もちろん100年経てば1世紀と節目はあるが、もう少し短いスパンで振り返る機会がない。振り返りを大切にする事で昔からころころ改元することのできる節目を大事に生きてきた日本人の気質がよく表われている。僕は新元号に代わりわくわくし、この気質が受け継がれているような気がした。

平成という時代に生まれ、周りの大人に担ってきてもらった僕たち。これからは僕たちが令和の担い手となり日本人の気質を大切にしながら、新しい時代を生きていく必要があると思う。

希望ある未来へ 1年女子

私は夏休みに北海道の奥尻島へ行きました。奥尻島の海には、浜辺にたくさんのプラスチックやポリ袋があり、いたたまれなくなった私達家族は、ゴミ拾いをすることにしました。そのゴミは、あっという間にゴミ袋3つ分。私は「海のゴミ」が心配になり、調べてみることにしました。

すると、世界の海には毎年800万トンを超えるプラスチックゴミが流れ出していることがわかりました。それは東京スカイツリー22基分だそうです。そして問題は、海の生物たちがゴミを食べてしまうことです。海のゴミを食べてしまうと満腹で本来のエサを食べることができなくなります。胃袋が詰まり破裂して死んでしまう場合もあります。腸で詰まると腸閉塞が引き起こされ、エサを食べられなくなり餓死します。もっと怖いことには、5ミリ以下ほどに細くなったマイクロプラ

スチックは、魚の体内に入り、食物連鎖で人間の体から見つかっているということです。将来のことを考えると、とても他人事ではありません。今年6月に大阪で開催されたG20で、海洋プラスチック問題が議題になり、2050年までにゼロを目指す「大阪ブルーオーシャンビジョン」が発表されました。世界の人たちがこの問題を真剣に考えています。私もできることから始めてみようと思いました。

1. ポリ袋が必要ないときは、ポリ袋をもらわない
2. ゴミを見つけたら拾って捨てる

私にとって「改」とは、社会や世界への関心を持ち、それについて深く考えることだと実感しました。これからは、今までより長い時間新聞やニュースを見て、それについて家族と話し合ったりしたいと思っています。

刊 行 物

中等部には、数多くの刊行物があります。その代表が『年鑑』で、テーマによる生徒の作文を柱に、生徒の作品や校友会活動報告とその研究発表、生徒会活動や学事記録を載せています。その他に、図書委員会の編集による『読書のすすめ』、『図書室案内』や、生徒と教員が協力して発行するニュース、まったく生徒主体のニュースなどがあります。

図 書 室 ニ ュ ー ス

2020. 3. 16 慶 應 義 塾 中 等 部 第 267 号

— 本 の 紹 介 —

『東京凸凹散歩 荷風にならって』

大竹昭子 著
亜紀書房

世に、「〇〇散歩」が流行って久しい。日頃、気にも止めない風景や地形から掘り起こされるピースを組み合わせると、新たな情報が見えてくることが、衆目を集める所以であろう。しかし、残念ながらその多くが、行列のできるおいしい店や話題のショップなどを紹介する、情報誌的な記事が多い。一方で、専門的な見地から紐解かれた謎を組み合わせたパズルもあり、まさに、玉石混濁である。本書はその後者の類にあたるが、それを義塾の教員でもあった永井荷風の視点を借りて描かれている点に注目したい。

荷風は、全財産を常に鞆に詰めて持ち歩くほどの強烈な個性を駆使して、菌に衣着せぬ表現で約一世紀前の東京の風景を、『断腸亭日乗』や『日和下駄』に著した。著者はその筆みにならって、かつてと変わらぬ光景や、ビル群に囲まれ面影すら失いつつある景観を、丹念に辿っている。特に、大正初期に居を構えていた新宿区東部にある余丁町周辺の記述は一読に値する。

関東平野と呼ばれる、国内では異例の大きさの平地でも、山あり谷ありの起伏が存在し、ビルの仮面を剥がせば、常に凸凹なのである。いやそれ以上に、上野から田端にかけての山手線の西側にある段丘に触れた文章を読むと、中等部時代、社会Ⅰで学んだ大地の「へり」のことを思い出す。地形とはそれ程重要で、それに由来する使用法が存在するのである。低地の尾久には、その広さと平面を利用した車両基地ができ、高輪の台地には寺町が、麻布の高台には大名屋敷群が構成されるという、首都の街作りの基本姿勢を改めて見せつけられた。

東京には、後線に沿って進む街道と、谷を這って続く道が交互に放射状に存在することを示した挿絵を眺めたときは、思わず本を片手に現地を巡ってみたいくなる衝動に駆られる。『日和下駄』の「路地」の項目で、「けだしその路地に住んで始めて判然する」と語られている、高輪の台地と桜田通りの北側斜面にある寺町の「路地」は、「路地は細く短しといえども趣味と変化に富むことあたかも長編小説の如し」と荷風を唸らせるに足る魅力を感じる。

「伊勢屋、稲荷に、犬の糞」と言われるほど江戸の町には稲荷社がたくさんあった。今風にいえば、「自販機、スマホに、コンビニ店」であろうか。小石川伝通院近くにあった余丁町の永井の屋敷には狐の果があり、飼っていた鶏を襲ったことに荷風の父が腹を立てて書生と共に退治するという、短編小説『狐』に紹介された話も興味深い。東京には多くの崖に狐の横穴の果があり、それに伴って多くの稲荷が祀られたのである。

福澤先生は、発疹チフスを患った後、義塾と自らの住まいを、海辺の新銭座から三田の高台に移転した。歴史を辿れば地形が、地形を辿れば歴史が見えてくるのである。

(大澤輝嘉)



古典芸能(歌舞伎)鑑賞会

～中村吉太郎さん楽屋訪問～



6月11日、古典芸能鑑賞会が行われ、12年生は国立劇場にて歌舞伎鑑賞教室に参加した。この鑑賞会は、学生を対象にしたもので、多くの学校団体が参加していた。

鑑賞の後は、中村吉太郎さん楽屋訪問が行われた。中村さんは、歌舞伎の魅力を語り、学生たちと交流した。中村さんは、歌舞伎の魅力を語り、学生たちと交流した。



中村さんは、歌舞伎の魅力を語り、学生たちと交流した。中村さんは、歌舞伎の魅力を語り、学生たちと交流した。

中村さんは、歌舞伎の魅力を語り、学生たちと交流した。中村さんは、歌舞伎の魅力を語り、学生たちと交流した。

中村さんは、歌舞伎の魅力を語り、学生たちと交流した。中村さんは、歌舞伎の魅力を語り、学生たちと交流した。

中村さんは、歌舞伎の魅力を語り、学生たちと交流した。中村さんは、歌舞伎の魅力を語り、学生たちと交流した。

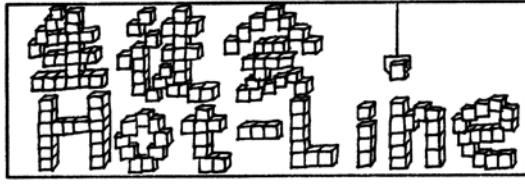
中村さんは、歌舞伎の魅力を語り、学生たちと交流した。中村さんは、歌舞伎の魅力を語り、学生たちと交流した。

中村さんは、歌舞伎の魅力を語り、学生たちと交流した。中村さんは、歌舞伎の魅力を語り、学生たちと交流した。

中村さんは、歌舞伎の魅力を語り、学生たちと交流した。中村さんは、歌舞伎の魅力を語り、学生たちと交流した。

「中等部ニュース」(上)は、校友会の1つである報道研究会が発行するもので、報道研究会部長の指導のもと、企画・取材・記事作成など生徒が行っています。学校行事をはじめ中等部の出来事など幅広い内容になっています。

「図書室ニュース」(左)は、主に新刊の紹介、生徒感想文を中心に載せており、生徒の読書への関心を高めるのに役立っています。



第3号

2019年9月21日

生徒会報道局

こんにちは！生徒会です。新学期も始まって2週間ほどたちますが皆さんはどうお過ごしでしょうか。

1学期に行われたユニセフ募金の総額

77217円で

皆様、沢山のご協力ありがとうございました！

2学期は中等部の行事が沢山あります！

会、生徒会総会、、、体調を崩さずに勉強

生徒会の広報活動は活発で、刊行物としては機関誌である「生徒会ニュース」(右)と、速報性のある「生徒会 Hot Line」(上)があります。「生徒会ニュース」は生徒会と生徒の架け橋としての役目を果たしており、学校行事の報告も行っています。「生徒会 Hot Line」では委員会の動きや校友会の活動結果などがより早く生徒に伝えられています。

生徒の自治組織である生徒会は、生徒全員によって組織されています。その中心は各クラスから選出された委員によって構成される生徒会委員会で、生徒全体の自治意識を高めることを目的にして活動しています。生徒全体に関する問題の議題がでると、生徒会委員会で話し合い、それを各クラスで討論し、その結果を委員会で話し合っています。

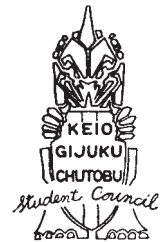
2019. 3. 15

1

第272号

生徒会ニュース

慶應義塾中等部生徒会



☆はじめに

皆さん、こんにちは！早くももう2月になってしまい、1年の早さをしみじみと感じています。まだまだ寒い日が続きますが、中等部ではだんだんと卒業の日が近づいてきました。少し寂しい思いをしている人も少なくないと思います。また、4月からは新入生も入ってくるので、お手本になれるよう頑張っていきましょう。

今回の生徒会ニュースでは、新生徒会事務局についてと中等部の1年についてです。



今号の内容

- P.1 はじめに
新生徒会事務局について
- P.2 各局意気込み
- P.3 各局意気込み2
新生徒会事務局への期待
今年を振り返って
- P.4 今年を振り返って2



☆新生徒会事務局について

生徒会事務局が次の代へと引き継がれ、我々70回生の生徒会事務局も旧生徒会事務局となります。新しい生徒会事務局が僕達の代よりも、より良く、より楽しい中等部にしてくれることを願っています

今回、生徒会事務局の人事が変わったという事で新たに生徒会委員長、生徒会副委員長、各局チーフになった方々に意気込みを書いてもらいました。生徒会の運営は大変だと思いますが、頑張っていって欲しいです。



2018年度生徒会スタッフ

慶應義塾の目的

慶應義塾は単に一所の学塾として自^{みず}から甘んずるを得ず。

其^{その}目的は我日本国中に於^おける気品の泉源、智徳の模範たらんことを期し、

之^{これ}を實際にしては居家、处世、立国の本旨^{あきらか}を明にして、

之を口に言ふのみにあらず、躬行^{きゅうこう}実践^{もつ}以て全社会の先導者たらんことを欲するものなり。

福澤諭吉

創立者福澤諭吉の慶應義塾に込めた思い、教育こそが社会変革^{こんかん}の根幹であるとの確信はこの一文に込められている。人々の意識や習慣を変え、さらにはそれを基^{もと}に社会を改善する力が学問にあると考え、それをまず自らが「先導者」として実践し、多くの卒業生が彼に続いた。近現代の日本の歴史の重大な場面に、慶應義塾の卒業生の姿があったことは偶然ではない。

とりわけ福澤諭吉が教育の成果として強調したのが「気品」。これは外見や言葉遣い^{づか}のことではなく、自然とにじみ出る人格の高潔さ、人間の大きさのこと。その中には、社会が直面する困難な課題を進んで発見し、その解決に率先してコミットしていく精神^{きゅうこう}も含まれる。「躬行実践」とは、口先だけでなく、自から実際に行うことを意味する。そういった精神と行動力を持った人を「先導者」と呼んで育てようとしたのである。

義塾

義塾とは、義^{えん}捐金で運営される公共の学塾のこと。義とは“社会公共のため”“協力して事業を行う”との意味を持つ。したがって慶應義塾を今の言葉にすれば“慶應共立学校”となる。義塾は英国の「public school」の訳語とも推定される。福澤個人の私塾でもなく、国家や藩からも独立して、権力から独立した公にされた存在として誰もが参加できる、協同で運営されるソサエティという意味が込められている。1868（慶応4）年4月、「創立の年号に取て仮に」慶應をつけたと言われ、その仮の名が今に至るのは、義塾の大らかさを表していよう。

独立自尊

慶應義塾の教育理念が要約された言葉。なにもものにも屈せず、誰にもおごらず、権威や習慣、常識なるものに囚われず、ただ己^{おのれ}の良識と信念に照らし合わせて考え行動する。こうした態度を身につけることを学問することの目的とした。そこでは同時に、一人一人の成熟によって、個人の意識や習慣を変えることで、社会を改善することが目指されている。福澤は「一身独立して一国独立す」とも表現した。近代国家の確立は個人の自立と切っても切れない関係にあると考えていたのである。

実学

福澤諭吉が提唱した学問は「実学」と総称される。これは単なる実用の学、実用知識や技術を意味するものではない。福澤は実学に、わざわざ「サイヤンス」とふりがなをつけている場合もあり、実学は実証科学としての学問を指していた。平たくは、実学とは科学する心のこと。自立した個人のありようと、科学的にもの事を考えられる判断力と問題解決力を養うことは一体化して考えられていた。また、学問のための学問ではなく、物の理にそった思考と行動様式を日常生活に浸透させることを含んだ言葉ともいえる。社会改良・生活改善のための学問、それが「実学」の意味である。

半学半教

学業の進んだ者が他の者を教え、同時にさらに上級の者に学ぶという仕組み。幕末期に福澤諭吉が始めた蘭学塾では、教える者と学ぶ者の分を定めず、それぞれの分野で一日の長のある者が教える、相互に教え合い学び合う仕組み、すなわち「半学半教」の教育形態を実践していた。これは義塾の草創期に師弟共に未知の新分野に挑戦する中ではぐくまれたものだが、後進の世代に対して、学問は究めるほど奥が深く、教員も学生も生涯学び続けなければならないというメッセージともなっている。慶應義塾では、学問に対する志を同じくする者が、ある時は教え、またある時は学び、協同で塾を維持運営するという草創期の精神は今も受け継がれている。

自我作古

「我^{われ}より古^{いにしへ}を作^なす」と訓み、前人未到の新しい分野に挑戦し、たとえ困難や試練が待ち受けていても、それに耐^たえて開拓に当たるといふ、勇気と使命感を表した言葉。出典は中国の『宋史』。現在の言葉で平たく言えばチャレンジ精神。草創期の先進塾生たちが、西洋文明をいち早くとりいれて、日本の近代化に貢献^{こうけん}せんとしたその雄々^がしき気概^{がい}を示す一種のモットーの如くに使われている。日本の近代化において、鉄道、電気、ガス、水道、保険、新聞などの分野で事業をリードしてきた慶應義塾の卒業生は、身をもってこの言葉を実践した。

社中協力

慶應義塾は学問という志を同じくするものの結社である。そう表されるほど、学生と教員、また卒業生同士のつながりは強い。「社中」とは、学生・教職員、卒業生などすべての義塾関係者の総称。目的と使命感を共有する者のあつまりという意味がある。義塾の運営を経済的に支えている維持会（1901（明治34）年創設）のほか、卒業生約三十万人が何らかの形で所属する三田会は、職場や地域で組織され、日本だけでなく、世界中で合わせて約860を数える。

慶應義塾の歴史

1853 ペリー浦賀に来航

1854 日米和親条約

1858 福澤諭吉、蘭学塾を創始

江戸築地鉄砲洲の中津藩奥平家の邸内に福澤が開いた蘭学塾が慶應義塾の原点です。現在、中央区明石町の同地には、慶應義塾発祥之地記念碑が建てられています。

1863 英学塾に転向

1868 慶應義塾と命名

三度にわたる欧米視察で、英語、経済学など新しい教育の必要を痛感した福澤は、1868（慶応4）年、藩や国家などから独立した近代教育の先駆となる学塾として整備。それまで名前のなかった塾を時の元号に因み、慶應義塾と命名しました。

1874 幼稚舎発足

1871（明治4）年、義塾は現在の三田に移転。1874（明治7）年1月には義塾内で和田義郎による塾が開かれ、のち幼稚舎と呼ばれるようになりました。

1889 大日本帝国憲法の発布

1890 大学部発足

福澤は義塾をゆくゆくはユニバーシティにしたいとの構想を持っていましたが、1890（明治23）年、3人の主任教師をハーバード大学などから招くことによって、待望の大学部（文学科、理財科、法律科）を設置。1920（大正9）年大学令公布によって義塾は法令に基づいた大学となり、その際自然科学系統の医学部を加え、私学初の総合大学となりました。

1894 日清戦争勃発

1898 一貫教育の完成（普通部発足）

義塾は3年制の大学部と7年制の普通部からなる組織でしたが、1898（明治31）年、これが5年制の大学部、5年制の普通部（中等教育）、6年制の幼稚舎（初等教育）からなる一貫した組織に改編されました。幼稚舎からは16年、普通部からは10年という今日と同じ一貫教育が確立したのはこの時です。

1899 私学初の留学生派遣

大学部開設当初の問題は、教授の確保にありました。名実ともに学問の府となるためには、塾出身の大学教授を育てる必要がある、そう考えた福澤は、1899（明治32）年、大学部の卒業生数名を欧米の大学に留学させました。これが私学初の留学生派遣です。彼らが帰国し、大学部の教授陣に加わり、その人々に教わった学生がまた教授となる半学半教の義塾の伝統は、この留学生制度で新たな成果を生みしました。

1901 福澤諭吉没する

1904 日露戦争勃発

1906 大学院設置

学部卒業後のさらに高度な教育・研究を望む気運が塾内に高まったことから、慶應義塾は1906（明治39）年に大学院を設置しました。これが現在の新制の大学院になったのは1951（昭和26）年です。

1914 第一次世界大戦勃発

1917 医学教育の出発

1920 文・経・法・医からなる総合大学となる

1923 関東大震災

1934 日吉キャンパス開設

関東大震災の復旧が一段落した頃から、校地の拡大による環境整備が検討され始めました。1928（昭和3）年から1934（昭和9）年にかけて日吉台に13万坪の敷地を確保し、第一校舎と体育施設が竣工。大学予科の移転をもって日吉キャンパスが開設されました。

1939 第2次世界大戦勃発

太平洋戦争開戦



1944 藤原工業大学が寄付され工学部となる

1945 広島・長崎に原爆投下

1946 日本国憲法公布

1947 男女共学を実施（中等部・女子高等学校の設立）

『学問のすゝめ』の冒頭で平等の思想を説いた福澤は、数多くの著作をととして女子教育の必要を訴え、また女子教育機関の設置を試みました。戦後の教育基本法の制定により男女共学が実現し、義塾ではまず中等部を設立、幼稚舎を男女共学としました。続いて1950（昭和25）年に女子高等学校を設立して女子教育を始めました。また大学はこれに先立ち、1946（昭和21）年から女子学生の入学を認めました。



1948 高等学校発足

前身である第一高等学校・第二高等学校が発足。翌1949（昭和24）年に両校を統合して慶應義塾高等学校と改称しました。

1957 商学部開設

1957 志木高等学校発足

1948（昭和23）年に設置された慶應義塾農業高等学校から広大なキャンパスを引き継ぎ、普通高等学校となりました。

1962 ビジネス・スクール発足

1964 東京オリンピック

1970 日本万国博覧会

1972 札幌オリンピック

1981 工学部を理工学部へ改組

1990 海外での教育を開始（ニューヨーク学院設立）

日米それぞれの教育の良さをあわせ学んだ国際人の養成を目的に、1990（平成2）年、義塾は米国にニューヨーク学院（高等部）を開設。慶應義塾の海外での教育・研究の拠点として、その第一歩を記しました。

1990 湘南藤沢キャンパスに総合政策学部・環境情報学部開設

1990 東西ドイツ統一

1992 湘南藤沢中等部・高等部開校

生徒の能力と個性の伸張を継続的・発展的に図ることを目的に中学・高等学校を統合した6年間一貫教育を目指して開校しました。

1993 ヨーロッパで欧州連合（EU）が発足

1995 阪神・淡路大震災

1998 長野オリンピック

2001 看護医療学部開設

2001 アメリカ同時多発テロ事件発生

2004 大学院法務研究科（法科大学院）開設

2005 大学院健康マネジメント研究科開設

2008 創立150年を迎える

2008 共立薬科大学との合併により、薬学部、大学院薬学研究科開設

大学院システムデザイン・マネジメント研究科開設

大学院メディアデザイン研究科開設

2011 東日本大震災

2013 横浜初等部開校

慶應大阪シティキャンパス開設（リバーサイドキャンパスを移転）

2015 大学部開設125年記念式典・講演会開催

2016 殿町タウンキャンパス開設



① オランダでの福澤諭吉

② 大学部校舎（1904年竣工）

③ 開設間もない日吉キャンパス

④ 創立100年記念式典

⑤ 創立150年記念式典

募集のあらまし

1. 募集人員

男子：約 140 名 女子：約 50 名
(内部進学者の進学状況により多少の変動があります)

2. 募集要項の頒布と出願

① 2021 年度募集要項の頒布

次の 3 ヶ所で頒布します。(1 部 700 円)

(1) 中等部事務室

9 月 1 日 (火) より

月～土曜日 9:00～11:20

12:20～16:00

※日曜、祝日、11月17日、12月27日～
1 月 5 日、1 月 10 日を除きます。

※原則として郵送での頒布は行っておりませんが、遠隔地にお住まいの方や、(1)～(3)の場所での購入ができない特別な事情がある場合には、中等部事務室までお問い合わせ下さい。

(2) 大学三田キャンパス警備室

9 月 1 日 (火) より

正門 7:00～22:00 (休日も頒布)

(3) 大学日吉キャンパス警備室

9 月 1 日 (火) より

24 時間対応 (休日も頒布)

※大学三田・日吉キャンパス警備室
では、他の一貫教育校の募集要項
も頒布しています。

② 出願期間

1 月 10 日 (日)～1 月 12 日 (火)

※日本国内の郵便局の消印 (1 月
10 日 (日)～12 日 (火) の消印) が
あるものの郵送受付のみとし、窓
口受付はいたしません。

③ 出願書類

(1) 入学志願書

(2) 報告書 (出身小学校記入)

(3) その他中等部で指定するもの

④ 入学検定料 30,000 円

3. 入学試験

① 一次試験 国語・社会・理科・算数

② 二次試験 (一次試験合格者のみ)
体育実技・保護者同席の
面接

③ 試験日程

・一次試験

2 月 3 日 (水) 8:30～12:30

・一次合格発表

2 月 4 日 (木) 15:00～17:00

・二次試験

2 月 5 日 (金)

※二次試験は以下の時間帯の中で、
2 時間程度を学校側で指定します。

女子 7:50 頃～11:00 頃

男子 10:00 頃～18:00 頃

・合格発表

2 月 6 日 (土) 15:00～17:00

※一次・二次とも、Web (ホームペー
ジ) 上でも 15:00～16:00 の時間
帯で合格発表を行います。

④ 試験場

一次試験 慶應義塾大学三田キャンパス
(男子：第一校舎・女子：西校舎)

二次試験 慶應義塾中等部校舎

4. 学 費

入学に必要な費用は、2021 年度につい
ては未定ですが、参考までに 2020 年度の
現行額は次の通りです。

入 学 金	340,000 円
授 業 料	860,000 円
教育充実費	200,000 円
校友会費	15,000 円
合 計	1,415,000 円
(授業料分納の場合 985,000 円)	

※義塾内の他の中学校に入学手続きを完了
した者には、納入した学費等の振替制度
があります。

※所定の期日までの入学辞退者には、入学
金を除く学費を返還します。

※なお、詳細は 2021 年度募集要項をご参
照ください。

Q & A

入学試験について

Q 1. 受験にあたって条件がありますか？

A. 特別な条件はありません。受験資格としては、下記ア、イのいずれかに当たる者としています。

ア. 2021年3月に小学校、またはこれと同等の学校を卒業見込みの者。

イ. 次の(1)(2)の条件を共に満たしている者。

(1) 2008(平成20)年4月2日から2009(平成21)年4月1日までに生まれた者。

(2) 海外に在住し、2021年4月以降日本に居住予定の者。

※なお、上記ア、イ共に東京都およびその周辺に保護者(代理者可)が居住、または居住予定の者に限ります。

Q 2. 志願者数、合格者数はどのくらいですか？ また、繰上合格はあるのですか？

A. 最近3年間の志願者数、合格者数は以下の通りです。

		志願者数	合格者数
2018年度	男子	1,016	153
	女子	492	59
2019年度	男子	991	170
	女子	511	54
2020年度	男子	956	171
	女子	458	58

この他、繰上合格者が若干名いますが、年度によって増減があります。

Q 3. 帰国生入試は実施していますか？

A. 実施していません。

Q 4. 入学試験の時間と配点を教えて下さい。

A. 国語・算数が各45分で各100点、社会・理科が各25分で各50点です。

Q 5. 受験の際の持ち物を教えて下さい。

A. 一次試験に必要なものは、受験証・筆

記用具(鉛筆(シャープペンシル可)・消しゴム)です。下敷・定規・コンパス・分度器は必要ありません。一次試験の試験場の各教室には時計はありません。腕時計を持参してもかまいませんが、アラームをセットして使用してはいけません。計算機、計算機のついた時計の持ち込みは禁止しています。二次試験で必要なものは、受験証・体育着・体育館用の運動靴・外履きを入れる靴袋・衣服などを入れる袋です。なお、一次試験・二次試験ともに、上履き、お弁当は必要ありません。

Q 6. 特に重視される科目はありますか？ また、教科ごとの足切りはありますか？

A. 特に重視する科目、教科ごとの足切りはありません。一次試験・二次試験を総合して最終の可否を決定します。

Q 7. 保護者同席の面接では、両親共に出席しなければならないのですか？

A. できるかぎりご両親でご出席下さい。やむを得ない場合には、お一人でも結構です。なお、二次試験の時間は、学校側で指定させていただきます。

Q 8. 寄付金がありますか？

A. 義務づけられた寄付金はありません。ただし入学後に、任意で、「慶應義塾債」(1口10万円でできたら3口以上、大学卒業時または大学院修了時に償還)のお引受け、及び「慶應義塾教育振興資金」(年額1口3万円でできたら2口以上)、慶應義塾の教育・研究・医療環境整備事業の募金、中等部教育充実資金へのご応募をお願いしています。これらは、教育充実のために使われるものです。

Q 9. 慶應義塾の中学三校(普通部、中等部、湘南藤沢中等部)を併願することは可能ですか？

A. 三校とも受験可能となるように配慮します。

学校生活について

Q 1. 通学範囲はどのくらいですか？

- A. 今年度の新入生(252名)では、東京23区内から182名、東京23区外から10名、神奈川県から32名、千葉県から17名、埼玉県から11名が通学しています。片道の通学時間は、30分までが54名、1時間までが141名、1時間30分までが55名、2時間までが2名です。

Q 2. 学校指定のカバンはありますか？ また、靴は革靴でなければなりませんか？

- A. カバンや靴に指定はありません。ただし、基準服を着る場合には黒の革靴、体育館では赤ひもの運動靴を使用します。

Q 3. 昼食と売店について教えて下さい。

- A. 昼食は弁当持参が原則となっています。構内にパン・ジュースの自動販売機がありますが、生徒の成長・発育に十分な食事とはいえません。火曜・金曜日にはお弁当の配達を試行中です(ネットでの予約制)。また、事務室では、文房具を販売しています。

Q 4. 校友会活動(クラブ活動)への参加状況を教えて下さい。

- A. 校友会への参加は自由ですが、どの部にも所属していない生徒はほんの数名です。各部の活動は原則として平日週3日以内ですから、兼部している生徒もたくさんいます。

Q 5. 生徒用のコンピュータの施設について教えて下さい。

- A. 2020年4月現在、CAV室に50台、ボプラ館分割教室に26台、視聴覚教室に42台(タブレット)、その他生徒が利用できるものが数台あり、すべてインターネットに接続可能です。

Q 6. いじめはありますか？また、どのような対策をとっていますか？

- A. 日頃、互いを尊重しあうことの大切さを指導していますが、残念ながら、いじめが起こることもあります。いじめに対して、学校として厳しい姿勢で対応しています。いじめが起きた場合、起こりそうな状況があった場合、教員同士が連携しながら解決するまで取り組んでいます。

Q 7. 不登校の生徒はいますか？

また、どのような対策をとっていますか？

- A. 学年によっては、不登校の生徒がいる場合もあります。カウンセラーが週2回カウンセリングを行います。また、担当の小児科医、ストレスケアの専門医とも緊密に連絡をとって対応します。

Q 8. 慶應義塾の中学校には、中等部の他に普通部・湘南藤沢中等部がありますが、各学校の特色を教えてください。

- A. 中等部は男女共学70年間の歴史の中で集団生活における幅広い体験を重視する学校、普通部は長い伝統のもとで個性の伸長を図る男子校、湘南藤沢中等部は時代の流れに先行する試みを盛り込んだ中高一貫の男女共学校といえるでしょう。

Q 9. 学費以外にかかる費用はどのくらいですか？

- A. 入学までに、基準服(7万円程度)、体操服(2万5千円程度)、スモック(5千円程度)、絵の具(1万3千円程度)、防災ずきんカバー(千円程度)を購入します。今年度の1年生は、積立金(教材、遠足、見学、鑑賞会等の費用)として年額8万円、林間学校費用として5万円をお預かりしています。この他に、各クラブでの必要用具一式を揃えるのに数万円かかり、長期休暇中のクラブの合宿に1回当たり4~6万円かかります。

Q 10. 中等部に入学した後、保護者と共に海外に転出し、その後帰国した場合、中等部に復学することはできますか？

- A. 2年間までなら復学できます。ただし、学年が遅れることなく復学するには、次の①~④のすべての条件を満たしていることが必要です。
- ① 1年次の第1学期および3年次の第2・3学期は中等部で学習すること。
 - ② 海外渡航期間が1年以内(渡航開始時期によっては最大4学期)であること。
 - ③ 復学時に試験を受けてその学年に相当する学力が認定されること。
 - ④ 渡航期間中は中学校と同等の学校に就学すること。
- なお、学期中の生徒のみでの留学は認めていません。

授業について

Q 1. 各教科で使用している教科書や教材を教えてください。

- A. 今年度の1年生では、次の教科書・教材を使用しています。この他、プリント教材を必要に応じて使用します。

国語：中学校国語1（学校図書）

新・国語の便覧（正進社）

中学書写（教育出版）

社会：新しい社会 地理（東京書籍）

新しい社会 歴史（東京書籍）

中学校社会科地図（帝国書院）

学び考える歴史（浜島書店）

数学：中学校数学1（学校図書）

新 A CLASS 中学数学問題集1（昇龍堂）

理科：未来へひろがるサイエンス1（啓林館）

最新理科便覧 東京都版（浜島書店）

音楽：中学音楽1（教育出版）

中学器楽1（教育出版）

慶應歌集（慶應義塾大学応援指導部）

美術：美術1（光村図書）

技術：新技術・家庭 技術分野（教育図書）

家庭 新技術・家庭 家庭分野（教育図書）

保健：新中学保健体育（学研）

体育 ステップアップ中学体育（大修館書店）

英語：NEW HORIZON 1（東京書籍）

ENGLISH SEARCH I

ENGLISH DISCOVER I

（教育開発出版）

NEW HORIZON ペンマンシップ編

（東京書籍）

道徳：生き方から学ぶ（日本教科書）

Q 2. プールはありますか？

また、水泳の授業はありますか？

- A. 6月中旬～9月下旬にかけて水泳の授業を行います。1年生では、25m 泳げない生徒やフォームの改善を要する生徒を重点的に指導します。

Q 3. 進度別・能力別授業はありますか？

- A. 英語では、週1時間、習熟度を考慮した少人数クラス編成で授業を行っています。

Q 4. コンピュータを使った授業には、どのようなものがありますか？

- A. 1・2年次の「情報」の授業では、ネットワーク利用上のルールやマナーをはじめ、基本的なソフトウェアの利用についても指導します。他の教科でも、調べものやレポートの作成など、必要に応じて取り入れています。

Q 5. 家庭教師についたり塾に通う必要はありますか？

- A. 生徒の学力には個人差がありますので一概にはいえませんが、予習・復習をしっかり行い、中等部の授業をきちんと聴いてノートをとっていれば、特に必要ありません。

Q 6. 授業について行くのが難しい生徒はどのように指導していますか？

- A. 担当教員が個別の指導を行って課題を出したり、少人数の補習を行ったりして補います。また、教員室は生徒が自由に入室できますので、質問をしに来る生徒がたくさんいます。

Q 7. 英語検定・漢字検定は学校で受検できますか？

- A. 英検は年に1回、漢検も年に1回、希望者を対象に中等部の校舎を会場として受検できます。なお、英語の授業では、学外テストを全員受験し、自分の英語力をスコアで客観的に把握してもらっています。

進学について

Q 1. 高校への進学について教えてください。

- A. 中等部に学ぶ生徒は、特別に進学のための試験を受けることなく、中等部長の推薦により、塾内の高校に進学できます。ただし、普段の学習や素行の面において、特に不良の場合には、進級・進学に影響することもあります。

※横浜初等部を卒業した児童が湘南藤沢中等部に入学し、さらに湘南藤沢中等部を卒業した生徒が湘南藤沢高等部に入学するため、2021年度の本校入学生より、湘南藤沢高等部へは進学できなくなります。

Q 2. 中等部を卒業して塾内高校に入学する際、入学金を支払う必要はありますか？

- A. 塾内のどの高校に進学しても、改めて入学金を納めていただいています。

Q 3. 慶應義塾大学の学部選択について教えてください。

- A. 慶應義塾大学には、文学部・経済学部・法学部・商学部・医学部・理工学部・総合政策学部・環境情報学部・看護医療学部・薬学部がありますが、中等部在学中から、進学する学部を決めてしまうことは必ずしも好ましいことではありません。学科においてもかたよらない知識を得、幅広い経験を積むことが大切であると考えています。いろいろな学問の基礎を学び、様々な体験を重ねることが、自分の可能性の発見につながるのです。なお、昨年度の各高校からの進学状況は、次の表の通りです。

	日吉	志木	女子	藤沢	N Y
文	21	25	19	8	10
経 済	230	80	60	58	22
法	224	74	54	64	20
商	115	22	24	10	15
医	22	7	5	7	2
理 工	109	33	18	32	0
総 合	32	3	10	20	19
環 境	42	9	7	31	15
看 護	0	0	4	2	1
薬	2	1	8	6	3
その他	11	2	0	2	2

高校ごとに、学部への推薦枠を設けていますが、以前から医学部、近年は法学部も進学希望者数が推薦枠を超えています。この場合、成績により希望の学部に進学できないこともあります。

そ の 他

Q 1. 構内を見学することはできますか？

- A. 平常は構内の見学はできません。11月14日（土）12:00～16:30、15日（日）9:30～16:00に開催される展覧会の際にご覧下さい。なお、10月1日（木）に日吉キャンパス陸上競技場で行われる運動会（雨天時は10月2日（金）に順延の可能性あり）も公開しています。

Q 2. PTA 活動はありますか？

- A. PTA 組織はありません。年に4・5回行われる保護者会では、成績や生活など、担任教員と保護者との懇談の機会が設けられています。また、個人的な面談はいつでも受け付けています。

Q 3. 奨学金制度はありますか？

- A. 「小泉信三記念高等学校以下一貫教育校奨学金」（授業料の全額または半額）、「2000年記念教育基金奨学金」（金額は必要に応じて決定）、「中等部同窓会ひまわり奨学金」（授業料・施設設備費および教材費の合計の半額～全額）があります。申請資格は、(1)経済的事情により学業の継続が困難となった者、(2)成績・品行ともに優れ健康である者、となっています。

中 等 部 記 念 の 歌

創立二十周年記念

風 が 光 が

作詞 大槻 茂彦（19回生）
作曲 大迫 直樹（19回生）

一 のびのび遊ぶ ぼくたちに

風がやさしく 吹いてきて

「ゆたかになろう」とやさやいた

そつだ ぼくたち胸はつて

こころゆたかに のびるんだ

二 あかるく集う ぼくたちに

光がやさしく さしかけて

「ほこりをもとう」とやさやいた

そつだ ぼくたち胸はつて

ほこりをもつて すすむんだ

三 楽しく学ぶ ぼくたちに

ペンのしるしが ほほえんで

「道は遠い」とやさやいた

やるぞ ぼくたち胸はつて

きつと進むぞ この道を

創立三十周年記念

みんなの30年

作詞 原 美津穂（29回生）
作曲 喜多村めぐみ（30回生）

一 朝 さわやかな朝

青い空にこだまする

さわやかな声

みんなが笑ってる

わたしも笑ってる

二 歌 明るい歌

白い校舎にこだまする

明るい声

みんなが歌ってる

わたしも歌ってる

三 夢 みんなの夢

若い心にこだまする

希望の声

みんなが夢みてる

わたしも夢みてる

創立五十周年記念

時のかけ橋

作詞 松村 理恵（49回生）
作曲 酒井 基成（51回生）

一 いま 握りしめた手と手は

夢を創った人からつながる

受け継いできた Knowledge

燃える思いは Energy

守り続けた Independence

いつの時代も Opinion

二 いま 固く結んだ心は

未来を拓く人へとつながる

生命すべてに Kindness

どんな場面も Elegance

磨き続ける Intelligence

扉開く Originality

世界を創ろう

記念の歌について

中部部創立 20周年・30周年・50周年の各記念の歌は、作詞・作曲共にその当時の在校生の手によるものです。

